

22.6. 昭和21年秋、校務に各運動部を設けようとして5年より各部1人の設置責任者が選
 ばれたが、その時なく部ごとの部は消滅してしまつた。22年度を迎えてようやく
 村塾、小学校で選手たが5年相川を中心にバレー部創立の運びとなり6月
 より活動を始めた。当初の部員数2名。ユニフォーム最初のマーク紺色。船中
 運動部各と「米田」武田らるり時代に、全員ハダシ、夏は砂か暑くは涼しい
 水「フットワーク」は良かったというものの、ハダシを木と散まらされた。そのわり冬は、ゴツイ
 靴をはかずに練習した。

2.12 練習試合 (初)

船中 2 (21~6) ⁰ 磯崎 (21~3)	船中 2 (21~15) ⁰ 肉中 (21~7)	船中 2 (19~21) ¹ 肉中 (21~16)
21~15 (初) 深根高		
早々に千葉商より練習試合の申込み、虎原中も招待する。船中バレー部の 奮発よりスタートは出来る。おおく多くの者が参加するため、補欠を全部 打順		
8 金子 (-)	6 中村	5 井上
9 相川	7 西藤	1 小熊
2 瀬尾	3 宇川	4 金子 (鹿)
池田	福永	小山

出場工事

2.19 練習試合

於 船中ユート.

船中 2 (21~12) ⁰ 佐倉中 (21~17)	全校生徒の応援を食く、相川奮闘 この日西藤負傷で休部、HC 池田と る。
--	--

2.22 練習試合

於 千葉師範

船中 2 (21~11) ⁰ 千葉師範 (21~4)	船中 1 (22~20) ⁰ 千葉大 午前練習、午後遠征、丁度練習中の大、千葉大は1セットのみ お股する。
--	--

2.23 練習試合

於 佐倉中.

船中 2 (21~9) ⁰ 佐倉中 (21~10)	船中 2 (21~19) ¹ 佐倉中 (21~29) 21~7
観戦中の佐倉高材の来出にたい試合す。片方は学外と互点 22点。	
船中 2 (21~17) ⁰ 佐倉高 (21~13)	船中 2 (21~10) ⁰ 佐倉高 (21~9)
大沢勉 (波東高) 卒の佐倉中が相当強かった。	

7.28

第1回県中準排球大会

於 県管陸上競技場 (県下最大陸上競技場内にコートを作って)
参加13チーム

(優勝)

船中 2(21~7) 0 東金 泉 栄 栄

船中 2(21~13) 0 千葉 業 師 範

船中 2(19~4) 1 千葉 業 師 範

快勝

船中 2(21~7) 0 佐倉 中

1点ト、3-7-4 及び 5-0
千原の石井に押し崩され、2
点ト入って来る相川のTで、反

船中、運動部、初の県制覇。
慎重にプレーし、エース相川をフルに使って、壁を優勝。連日の猛
練習に相川は、県制覇と成して、秋には、攻撃を加え、レシーブ
を固めることを全員に約束。

	FR	FC	FL	HR	HC	HL	BR	BC	BL
	金子(-)	相川	浪屋	中村	池田	福永	井上	小熊	釘(席)
得	3	26	10	0	0	2	0	0	0
S	0	11	6	0	2	3	1	3	1
失	9	7	13	10	12	9	13	6	6

8.20

コート初転 国体予選は、新卒制移行準備として、4、5年生で行法の練習がある
為、金子(-)に攻守FR井上、BR福永 HL直藤と決る。

8.24

佐原高女にて福地先生より合宿中の文理大のコートを受かる。基本から直球は、乱打の時文理
大FCの捲き込み、Tに驚かされた。全員で、Kを打って観て頂いた。これは特に多くに決る。

8.27

福地先生来校 コートに下土る。(佐原高女)

8.30

練習試合

於 留守事務所

船中 0(19-21) 2 留守 事務所

船中 1(2-0) 留守 事務所

実業団と初試合であった。上手い、全く苦戦であった。4戦目疲労が12日
に於て惨敗極まりない、BL加藤が、2、3戦時不明

9.3

芝罘の中央大 井上高生校 コート

9.4

練習試合

船中 2(21~17) 1 泉 亨

船中 0(11-21) 2 留守 事務所

9.12

練習試合

於 南東中 (根得数高)

船中 2(21~12) 0 南 東 中

船中 2(21-10) 0 南 東 中

9.24 第2回団体果手選 於 千葉師範 参加77-6
 中学部 船中 (21~12) 0長 以勝 船中 (21~9) 0 佐倉中
 (優勝) 中 (21~11) 3中 中 (21~14) 0
 優勝団体への出場権を得。翌日賞状授与可。

	FR	FC	FL	HR	HC	HL	BR	BC	BL
	井上	相川	瀬尾	中村	池田	直藤	福永	小燕	金子(麻)
得	0	27	6	0	0	2	0	0	0
S	0	6	0	4	2	1	0	0	0
失	7	3	1	11	3	7	1	6	2

9.25 新入部員多数を加えて練習

10.4 練習試合 於 留守栄橋

船中 (21~18) 2 留守栄橋
 中 (17~21)
 18~21

10.14 相川の恩師のチカス名乗レ。コ-干にて下す。

10.27 団体に出席 午後10時半 副駅舎 金沢へ向か。〔全技全徒が来エ一握つマ ちきり〕

10.29 4時半起床、午前金沢医大で、夕刻山代小学校体育館で練習。計4時間。

10.30 5時起床、朝食前山代小で練習、朝の練習に最高潮に達して感へあつた。

2回団体余米 船中 (21~18) 2 船中
 中 (14~21) 船中
 中 (14~21) 船中
 会場まで直ち通レ2時間、合衆後30分
 合と、条件の添にコ-干の汗を擦えら
 ぶるかつ。2部ト5部ト5部ト5部ト

8~16と5部ト5部ト。3部トは5~1、5~7から4~4と5部
 10~10と5部ト5部ト5部ト5部ト5部ト5部ト5部ト5部ト5部ト5部ト
 山代。この間優勝権に争つた5部ト5部トの強か-マ-は惜み士れた。

	FR	FC	FL	HR	HC	HL	BR	BC	BL
	井上	相川	瀬尾	中村	池田	直藤	加藤	小燕	金子(麻)
得	0	10	7	0	0	2	0	0	0
S	3	2	1	0	0	0	1	0	2
失	4	6	2	8	10	10	8	10	4

レギュラーの他に福永、安川、菅谷、岩井、笠原は在籍なし、石橋、先見。

22.11.28 船工専主催

於 松戸

高校大会 船中 (21~10) 0 千葉商
 中 (21~14) 千葉商

船橋市・市協会の動き

国内（社会一般）の動き

昭和22年（1947）

10. 第6回国勢調査 人口 78,996人
世帯数 17,042
県立船橋中にバレー部誕生
第1回中学校排球大会 船橋中優勝

4. 新学制による小中学校発足
5. 日本国憲法施行
千葉県体育協会再組織化
県中学校総合体育大会始まる

NEWS	MOVIE, SONG	BOOK	LIFE	SPORTS
	ラジオ 「鐘の石子丘」	太宰治 「斜陽」		東京、箱根向大学駅伝復活
	「20の扉」	石原信太郎 「霧山唯」		全口達校中等学校排球大会
	歌 「東京がやうやう」	竹山道雄 「エールの聖琴」		復活
	「星の橋川に」			古橋五郎 400m 自由型
	「晴（は）小島」			世界新記録
	「エルク」 帽子」			
	「山崎のXT」			
	「炭坑節」			

23. 4. / 新制高校卒業 ユニホーム 社「FHS」。

前年度不敗と誇った船中もレギュラー5名の卒業と相川の二部転学により練習不能=痛手をおい、自ら新制高校に残り、3名で一戦協力チームの再編成にのり出した。然し意の如く成らず練習参加人員わずか5、6名という貧弱で下級生との間に何か間隙が感ぜられた。この状態が1ヶ月継続したままではと練習不足は承知の上で予高との試合を約し、これを目当の練習とし興味をたてた。

23. 5. /

練習試合

於 予高。

船 又 (21~13) 0 予 試合をやむを得ず、又勝つとかが
高 (21~11) 高 興味を持たせしに大切な要素と見て

くる、この見地からしてこの試合に勝つには大いに果敢がある。

訂規

新予高

- | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|---|----|-----|---|----|----|
| { | 8 | FR | 金子 | 7 | HR | 南原隆 | 5 | BR | 福永 |
| | 4 | FC | 池田 | 1 | HC | 南原祥 | 9 | BC | 加藤 |
| | 3 | FL | 近藤 | 2 | HL | 飯島 | 6 | BL | 玉沢 |

23. 5. 5

4ヶ所戦主将会議

技術の交換と互に叩き合せて泉のレベル向上に泉の上位で距離的にも近い佐倉予高とのリーグ戦を設けんとし、予高にて主将会議を開く。両校の賛同を得て計画を遂行、10日に遠路遠く長生高主将のリーグ参加の申込み候請す。

5. 16

第1回4校リーグ

於 船高。

船 又 (21~12) 0 予 船 又 (21~17) 1 佐
高 (21~14) 高 高 (18~21) 倉
21~17 高

船 1 (9~21) 2 長
高 (21~13) 生
10~21 高

- | | | | | | | | | | |
|---|---|----|----|---|----|----|---|----|--------|
| { | 1 | HC | 近藤 | 4 | FC | 池田 | 7 | HR | 南原隆(金) |
| | 2 | HL | 飯島 | 5 | BR | 福永 | 8 | BC | 玉沢 |
| | 3 | FL | 金子 | 6 | BL | 南原 | 9 | FR | 半谷 |
- (南原博)

6. 18

第2回5校リーグ

成東高と加え5校とる。 於 予高。

船 又 (21~4) 0 成 船 又 (19~21) 1 佐 船 又 (21~8) 0 長
高 (21~6) 東 高 (21~10) 倉 高 (21~17) 生
21~18 高

船 2 (21~7) 0 予
高 (21~13) 高

6. 18

練習試合

於 水産化学

船 2 (21~15) 0 水産
高 (21~6) 化学

6.26 第1回関東高校 於 都立高
大会
船又(21~8)0足 船0(9~21)2都
高(21~3)0立高 高(11~21)2立高
オープンに対しての施し採なく敗る。本大会はよりH次の必要を
痛感せしめ列以後の練習に努める。

	FR ₂	FC ₈	FL ₄	HR ₇	HC ₁	HL ₃	BR ₉	BC ₅	BL ₆
	金子	西藤	池田	海老原	加藤	飯島	河原	福永	玉沢
得	5	16	5	0	0	0	0	0	0
S	4	0	0	5	0	1	0	1	4
失	0	9	5	3	5	8	7	4	4

7.10 練習試合 於 船中
船又(21~4)0 船中職員
高(21~5)0

7.19 福祉大会かおこなれり、スレホリに各種練習を徹底的にやす。

7.20 練習試合 於 船高
船又(21~4)0 東 船又(21~3)0 東
高(21~9)0 豊高 高(21~18)0 豊高

7.23 練習試合 於 船中 船が降ると、その後浸水の急コート役を
船中を備りたりた。
船又(21~9)0 三正
高(21~6)0 菱工

7.25 第1回東高校選手権 於 千葉師範 高校男子小技
(優勝) 船又(21~3)0 山 船又(21~9)0 本 船又(21~9)0 佐
高(21~1)0 梨農 高(21~16)0 真 高(21~17)0 倉

7.26 1st 船又(21~10)0 長
高(21~18)0 生高
第1日は山口校長自ら応援に来り下り
世平の息が上り。同日又矢野の応援に上り。
H-7の要任日おこなれりた。(23.6.27 山口校長 兼任)

	FR ₅	FC ₈	FL ₃	HR ₄	HC ₇	HL ₁	BR ₂	BC ₆	BL ₉
	金子	西藤	相川	牛谷	海老原	池田	福永	加藤	玉沢
得	6	15	22	0	1	6	0	0	0
S	8	1	3	9	2	12	9	2	5
失	3	12	10	8	6	14	3	6	5

9 工一本-4 品 0-2字 筆記体 C FUNAKO

8.22	練習試合	於 長生高									
		船又 (10~21) / 船高 (21~17) / 船高 (21~18)	1	長生高							
8.27	佐原へ遠征	雨天の為、佐原市体育館で文理大と乱打レフト捕等を受ける。 HRのKに内野手Hが西巻のストロークに打ち抜けて居る。ST陣も健闘に似た、夏休中の練習は本日より3ヶ月からの期間の練習は大いにプラスに到りチームの強化が実現できた。									
9.5	練習試合	於 留守業務局									
		船又 (21~14) / 船高 (21~17) / 船高 (21~17)	0	留守業務局	前年度4戦4敗を喫した宿敵を破る。						
9.11	高校選手権兼 第3回国体予選	於 千葉一高	参加18チーム								
	(2位)	船又 (21~8) / 船高 (21~4)	0	千葉一高	船又 (21~8) / 船高 (21~16)	0	茨城県高	船又 (21~16) / 船高 (21~18)	0	佐倉高	
	決勝	船又 (22~24) / 船高 (16~21)	2	長生高							
		準決勝対佐倉に落着いては対外対し、長生は奮闘に準務。既に待機にあり、佐倉も必死(約5分)試合開始。遂に押し切られ勝った。 1アウト3塁3塁と3塁塁を13~11、19~13 20~15から長生RCのTの従相川TがHに打ち抜く(ホームラン)。20~20、22~22とあり、この長生HRのKが鉄心(入)を叩き、その次の相川のTで2アウトと思われは時Hの判定で1アウト笑う。 2アウト1~6、4~12、この活発な試合は、10子で巻く50分間が引手は各11 12~17、7アウトは16~17と迫るが、橋本が優勝を逃した。									
		得点	FR 5	FC 8	FL 3	HR 4	HC 7	HL 1	BT 2	BC 6	BL 9
			金子	西巻	相川	河原	佐藤	池田	福永	加藤	玉沢
		得	13	12	23	4	0	12	0	0	0
		S	11	1	7	7	5	11	4	5	2
		失	8	12	9	1	7	12	7	10	11
10.17	第3回5校リーグ	於 佐倉高									
		従来4-グループは、3対3でもあったが国体予選の失敗に鑑み、本日よりFRをHの中に入れてはとす									

		船又 (4~3) 0 千 高 (21~9) 高	船 2 (4~13) 0 長 高 (21~19) 高	船 又 (17~21) 1 高 (21~12) 高 21~8	自來高
		船 1 (21~16) 1 高 (9~21) 高 14~15	佐倉長生と取り 1位決定戦では、F力 3位目 11点 遠く真暗と取り引分り。		
23. 10. 28	練習試合	於 水産化学			
		船 又 (21~7) 0 水 高 (21~5) 高 産化学			
11. 17	第4回5校1-2"	於 長生高	佐倉欠場、千高 成乗人取掛あり合併		
		船 又 (21~11) 0 長 高 (21~13) 高 生高	船 2 (21~9) 0 千 高 (21~14) 高 成乗分所		
11. 18	練習	於 船中	船中にて教員F-Aと乱打。此の頃ハツも月光を浴びながら帰る 多量と1F感が強く感じ出した。		
12. 4	練習試合	於 部立三高			
		船 3 (21~16) 1 高 (21~19) 高 12~21 21~15.			
24. 1. 29	練習試合	於 千高	船 0 (18~21) 2 千 高 (16~21) 高 高	船 又 (21~17) 1 千 高 (17~21) 高 高 21~10	
3. 10	練習試合	船 0 (17~21) 2 船 高 (20~22) 高 高 7.7"			
3. 26 27	講習	於 館山	文理大の講習に参加。お旧 12名 中 2日 8名 男子 5チーム 女子 2チームが参加。 船高はカーブにすくい他は中程度とみられた。		

[昭和24年度]

収入の部 36,325円40銭(生徒会費 35,000円、繰越 1,325円40銭)

支出の部 36,118円40銭(ボール費 19,160円

備品費 11,896円40銭

交通費 3,873円、その他 1,189円)

差引残高 207円

(注)ボール単価 約1,500円

クラブ

		当クラブは 船高生と主体とし、船中0日若干並ひに秋には福地先生を加えて構成する。																	
23 2 23	第1回県民体育大会 千葉地区予選	於千葉師範 決勝、																	
		船中	ス	(21~9)	0	船中	ス	(11~21)	0	船中	ス	(17~21)	0	千葉師範大					
11 14	第1回県民体育大会 千葉地区予選 (優勝)	於千葉師範 参加選手-A.																	
		船高	ス	(21~6)	0	船高	ス	(21~16)	0	船高	ス	(21~14)	0	千葉師範大					
		船高	ス	(21~6)	0	船高	ス	(21~13)	0	船高	ス	(23~21)	0	千葉師範大					
		船高	ス	(10~13)	0	日没FV-YF-A													
11 23	決勝再試合	11月16日の音であつたが雨天で2日と5日、2日 医大が棄権で栗原が折と見られては、たので当然不戦勝であるとする、それでは面白くないとの意見もあり、23日に行われることになり、午後からと決められ、前日夕刻に医大主将が来校し、9時から17時頃の観戦の約束、連絡一苦労あり。																	
		船高	ス	(21~19)	0	1セット 3-0 FV-YF-A なるも相川T(スツ)に19~19より断つて、2セット 滑り出し相川 使用とカーブ良く、12:30を HCがJK (FV) 同等余裕あるアローに対し、医大はキルミス多く14~1とる。以後、医大キルミス続きあつて終つて(予)。													
		船高	ス	(21~4)	0	FRバンドFCに渡りHLへ、おひは、FCバンドでFRからFLへの球は、さかB陣の好パスと相まって巧みに行き出し、R側で牽制して相手ストップ陣を混乱させ、L側で差打せるとの福地先生の策、数見現出/セット失敗1点のか勝因である。													
		FR	2	FC	3	FL	4	HR	3	HC	1	HL	5	BR	7	BC	6	BL	9
		金子	近藤	相川	福地	宮原	海原	池田	小松	河原	加藤	云沢							
		得	17	15	23	3	0	2	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		S	0	7	5	0	1	3	6	0	4	2	1	0	0	0	0	0	0
		失	11	14	12	4	2	6	7	2	1	4	4	1	1	4	4	4	4
24 3 13	練習試合	船 2 (21~17) 0 船高 (22~20)																	

○第ノ回総合選手権評

23年11月24日千葉新聞、試合の興味は船橋PL組の強いEを医大Fが如何に脱するかにあつた。第1セットは両軍一進一退をくり返しやゝ受身の医大もチャンスボールを確実にもつたので仲々の熱戦となつたが堅実を誇るFが凡失しノセットを船橋に与えてしまった。第2セットは医大の出足すこぶる悪く船橋補給の目をFに出せず凡失も加つて忽ちFのとなり試合は早くも決してしまつた。以後の船橋は容赦いかぶさる様にゲームを進めFが巧みに医大の陣をけん制したので医大は全く斗志を失つて浮足立ちF両翼のEが決らず船橋攻撃の前に完全に屈した、船橋の策戦が適中したとはいへ医大は実力以下のゲームをしたといえよう。

12月1日房総スポーツ、(略)予想としては男子では留守業務医大A長世船橋高を優勝候補とし(略)医大の得る所となり善戦の東鉄講習所を降した船橋との間に決勝戦となつた、即ち此時を過ぎ試合進行は危まれたが両軍元氣に対戦、第1セット10-10(医大リード)で審判は日没ドロングゲームを宣告、試合は、日にもちこされた、29日の決勝戦は船橋高の策戦が奏功、見事ストレントで医大を破つてしまつた。前回には医大FのFは誠に堅固で船橋Eの強Eもしばしば釘ぜられたので此の日はFにFにして医大Fをけん制、EのEでポイントする戦法をとつた。此がまんまと成功したので医大はFワークを完全に崩しE両翼のEが決らず凡失も加つて船橋の葉籠中のものとなつてしまつた。優勝チーム船橋はFワークに長ど若さをカバイする安定力があり終始危氣ない戦いぶりをして居た。(略)同日、同紙、沼田真氏、(略)決勝の千葉医大対船橋高は宵やみの為ドロングゲームとなつたが11月23日改めて決勝戦のみを行つたのであるが医大はレギュラーノ名を欠員としたばかりでなく調子全く出ず攻撃も決らず凡失に終始した。此に反して船橋は日両サイド陣に場なれした福地相川などの攻撃によつて第2セットの如き僅に4点を与えたのみで優勝の栄冠を得た。学校生を主としたこのチームは年来の宿望を上げたといへべきであらう(略)

昭和23年度 高校男子及びクラブ

打順	位置	氏名	試合数(セツ)	五分	OB率	得点
2.3	HR HC	海老原 金太郎	25(54)	9	24/3	
2.5	FR	金子 一雄	25(54)	1	26/3	
3	FL FO	相川 幸男	20(40)	OB	18 22/3	
4	HL FO	池田 清	25(54)	3	24/3	
4.5	HR BR	河原 久一	12(24)	1		26/3
6.8	BO BR	加藤 忠太	25(53)	3	24/3	
7.2	BL	玉沢 俊夫	25(54)	1	26/3	
8.3	FO HL	近藤 弘男	25(52)	3	24/3	
9.6	HR BR	宮原 武夫	10(20)	1	26/3	
5	FL FR	西村 英男	4(9)	1	26/3	
2	BR BO	福永 純一	18(38)	2		25/3
9	BR	福地 昌二	2(3)	2注		
5	HR	半谷 隆	6(13)	OB		旧 23/3
7	BR	小熊 教仁彦	3(6)	OB		旧 23/3
7	FL	山口 祐啓	2(4)	3		舊 24/3
7	HL	飯島 直	2(4)			?
6	HR	峰川 幸次郎	1(1)	1		26/3
		合計	25(54)			

ベースコートは、運動場の中央にあり、球の入りか大変なためには、オリを高く
 雨の後は、当分の間、湖の杯にたてしめて候、空いては空他にネットを張り練習、
 嵐神中、舟中、舟小ハコートも借り廻りして来た。ボールも不揃いな様で何れも
 分指で修理、マモ財りて要したボールは、バックのロウクノス印と云。

○今春のホープを打診

今年3月/日房総SP 国体予選では長高に借敗したとはいふ秋の総合選手権に強敵大木ストリートで破り一躍排球船高の名を天下に轟かせた船高は今春純海老原始め四君卒業と相川の退学に選手半分以上を新人で補ねばならず実力の低下はおどろくもなげなれ。昨年来名料として好プレーを示した金子と新人は降川に非常な期待がかけられこの2人の活躍如何では決して昨年の成績に劣るまいといわれている、この他にFC西村が非常に伸び心強さを感じさせているがチーム全体のレベルを昨年以上にもつて行くにはまだまだ相当の練習をつまねばならず最近千葉高千葉商船高の二校で練習試合を行い千葉に敗れている成績が端的に実力低下を物語っている。然し長生高は勿論、ダークホースとしてぬきぬき接符の向上を見せている千葉高安房高を目標にAとBに分かれ猛練習を続け近く本格的な練習にのり出すが船高が此の苦境をいかに乗り切るかは排球愛好者の注目する所である。

24 4	ユニホーム 借の 日 船の中央に、	於 船中						
24 4.22	練習試合	船高 0 (15~21) 又 三葉工						
		船高 1 (18~21) 三葉工						
4.24	松回県体育大会 千葉地区予選	於 千葉師範						
		船高 0 (15~21) 又 留寺 紫原						
		船高 1 (12~21) 留寺 紫原						
		17組 F H B						
		6 山口 4 峰川 5 佐藤						
		9 西村 1 玉沢 2 小倉						
		3 金子 7 河原 8 藤田						
6.11	松回県高校	於 都立八高						
		船高 0 (10~21) 又 港工						
		船高 1 (12~21) 港工						
		17組 F H B						
		8 釜本 3 峰川 5 佐藤						
		4 西村 2 玉沢 1 小倉						
		6 柴山 7 河原 9 宮原						
6.18	練習試合	於 市制高						
		船高 0 (7~21) 又 市川工						
		船高 1 (12~21) 市川工						
6.25	練習試合	於 船高						
		船高 2 (19~21) 0 口 船高 2 (21~15) 1 市川工						
		船高 1 (15~21) 船高 2 (18~21) 21~15						
7.3	松回県高校選手権	於 千葉高						
		船高 1 (21~19) 又 千葉高						
		船高 2 (15~21) 船高 1 (19~21)						
		山賀は入部10日目の出場であった。川島はアークをくわすかに命を吐く						
		2ポイント20~70の挽回は賞工るべきか。						
		F 船 H 船 B 船						
		7 山賀 1 3 峰川 2 5 佐藤 3						
		4 西村 2 2 玉沢 2 1 小倉 3						
		6 浦野 1 8 小倉原 2 9 宮原 2						

2.24	練習試合	於 船中 船 0 (15~21) 2 菱 高 (11~21) 空	三
2.27	練習試合	船 2 (21~11) 0 雨 高 (22~20) 雨 夕月下前より、運河コートは、登川南園に渡り、前庭の木の木の間に ネットを張り練習する。8月は球園の歳、南神中と練習を行ったが 参加者少く、水戸が2名か、0日近藤に叩いてもらう機会とエス12'12" より最も辛い期間であった。	雨 雨 空
2.9	練習試合	於 船高 船 0 (14~21) 3 三 高 (11~21) 菱 16~21 佐王	9.17 練習試合 於 日府高 船 0 (19~21) 2 日 高 (8~21) 府高
2.23	団体予選	於 千葉師範 船 2 (14~21) 1 十 高 (21~12) 兼 21~16 高	9.24 船 0 (18~21) 2 佐 高 (11~21) 倉 高
10.7	練習試合	於 船高 船 1 (15~21) 2 順 高 (21~15) 登 11~21 大	
10.16	県高校選手権 7000大会	於 松戸 船 0 (19~21) 2 日 高 (20~22) 府高	⇒ 11/19 県高校選手権おち 7000大会2位で出場権利 敗者復活不出場となる
11.27	第2回松戸選手権	於 千葉師範 船 0 (20~22) 2 山崎 高 (11~21)	
12月	「バレー」決定	横 2.4cm 縦 1.8cm 左上部にボールと上部に勝利の月桂樹を配し、 ボール上部の FUNAKO は金色に、上の VOLLEY は銀色にそれぞれ浮き彫りした。	
収支内訳		収入の部	支出
		生徒会費 35,000円	36,118円
		部費月20円	ボール費 19,160円
			ボール単価 1300円
			交通費 3872円
			備品費 11,896円
			他 11,896円



昭和24年度 高校男子

24-3

学年

打順	位置	氏名	試合数(セツ)	学年	OB名後	両名後
1	BO	水倉勝雄	3(8)	3		25/3
2	HO	玉沢俊夫	4(10)	2	26/3	
3	HR	峰川幸次郎	4(10)	2		26/3
4.9	FO	西村英男	4(10)	2	26/3	
5.8	BR	佐藤雄太郎	3(8)	3		25/3
6	FL	浦野博	1(3)	1		27/3
7	FR	山賀繁夫	1(3)	1	27/3	
8.5	HL	小笠原博司	4(10)	2	26/3	
9.1	BL	宮原武夫	4(10)	2	26/3	
6.7	FR	川島秀三	3(7)			?
8.4	FL	柴山迪雄	3(7)	2	26/3	
6	HL	金子一雄	1(2)	2	26/3	
8	BR	長島洋三	1(2)	1	27/3	
合計			4(10)			

此の年は前年度に比べ「福地先生が「年一輪成困難」と言わざるを得ない程度
 の凋落の年であった。福地先生の下に3年2名、2年9名、1年7名と人数だけは揃った
 ものの試合経験がある者は2年金子、玉沢以外でその内金子が5月利病気の為、運動禁止
 となり、更に福地先生の骨折から夏一平定に合宿が不能になる等不運続きだった。此の間、
 部内は相当長期に亘って寂しさを又3年は受験の為、積極的に部内練習に専ら
 かがて来た居た。かくて、攻守の中心が得点の練習に於ても創生期に帰るの暗
 中模索であったが、この混乱の中にも熱心な幾人かの人達によって練習は多少やら取
 ていた。そして12月利翌年にかけて復帰の可能性を感じ、金子を加えて2年生6名の
 内に固い結束が生まれ来たのである。

女子

24.4. 男女共学とあり、女子部員として十数名をもちたがチーム編成には3名
 厚けは1名は運動部員抜出、翌年度に新生を迎えて(小田、佐々木、
 新築田)の3名であった。

[昭和23年度]

収入の部 37,491円 (生徒会費 37,500円 繰越 -9円)
 支出の部 36,165円60銭 (ボール代 18,343円10銭、
 備品費 4,274円、交通費 6,912円、
 その他 6,636円40銭)
 差引残高 1,325円40銭 (注)ボール単価 約1,100円

クラブ

		本クラブを船橋クラブと稱し、船中、船高OBを主体とし賛同者を加えて組織する。	
24. 9. 20	第2回県民体育大会 千葉県地区選	於千葉師範。	決勝 船橋 0 (15~21) 2 千葉陸大
		船 2 (21~2) 0 船 橋 (21~6) 7	船 0 (15~21) 2 橋 (13~21) 5
7. 24.	練習試合	於船中	三 菱 化 工
		船 2 (21~12) 0 橋 (21~9) 7	
9. 11	第4回国体果選 一般部 (優勝)	於千葉師範。	決勝
		船 2 (21~16) 0 河合外科 橋 (21~17) 7	船 2 (21~14) 0 桜根 橋 (21~7) 7 (福明)
			船 2 (16~21) 1 鉄子 橋 (21~9) 7 21~15
9. 18	練習試合	於海神中。	
		船 0 (18~21) 2 佐倉高 橋 (15~21) 7	船 0 (15~21) 2 佐倉高 橋 (15~21) 7
10. 2	第4回国体関東予選	於大宮、東京、神奈川を除く関東5県並に山梨県、3F-4 ツクリーズ戦で1位同士の決勝。	
		AY-川-7" 群	
		船 2 (21~8) 0 馬師 橋 (21~15) 7	船 0 (12~21) 2 甲府高 橋 (14~21) 7
11. 27	第2回県総合選手権 (2位)	於千葉師範	参加者
		船 2 (21~14) 0 留守養務 橋 (21~13) 7	船 2 (21~14) 0 長生高 橋 (21~16) 7
		船 2 (21~13) 0 安高A 橋 (21~14) 7	決勝 船 0 (7~21) 2 佐倉高 橋 (16~21) 7
		1セト目HRの3Mは3~8、競目HLの3M、HR2Mは3~13、以後FLのT止め得ず軽比54。2セト目FR高橋FC近藤FL相川HC池田と変え好調に激戦か。12~12よりAM競き12~17、その後16~18逆道下から3より取出し。この試合では佐倉HLのスライダー兼味のKが予選で土着船に後へ弾くのが多く苦戦したとはいえ非常に頑固なAMであった。	

打順	位置	氏 名	試合数(セツ)	OB後	同窓会後
1	BL	向 後 民 夫	3(6)		?
2	FO	池 田 清	3(6)	24/3	OB
3	HR	福 地 昌 二	3(6)		発生
4	HL	近 藤 弘 男	3(6)	24/3	OB
5	BO	加 藤 忠 太	3(6)	24/3	OB
6	BR	小 船 救 仁 彦	3(6)		旧制 23/3
7	FL	高 橋 錦	3(6)		?
8	FR	相 川 幸 男	3(6)	22/3	OB
9	HC	海 老 原 金 太 郎	3(6)	24/3	OB
		合 計	3(6)		

船橋市・市協会の動き

国内(社会一般)の動き

昭和24年(1949)

- | | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 1. 新京成電鉄、鎌ヶ谷大仏まで開通 6. 船橋中央病院開院 4. 船橋市体育協会設立 初代会長 千葉五郎
野球・相撲2種目加盟 国体県予選 船橋クラブ優勝 | <ul style="list-style-type: none"> 4. 1ドル360円の単一為替ルート設定 7・8. 下山・三鷹・松川事件起こる 11. 湯川秀樹ノーベル物理学賞受賞
プロレス誕生 |
|---|---|

NEWS	MOVIE, SONG	BOOK LIFE	SPORTS
	ラジオ 「エリス 珍室」	王竹山氏のついで	
	歌 「青い山脈」	この子と母	
	「銀座の夜景」	宮本武蔵	
	「任侠の夜」		
	「長崎の鐘」		
	「十三夜の歌」		
	「夏の思い出」	9月 穴と5月黄銅貨	

[第1回合宿]

25年3月17日集合 27日解散、風雨の為練習正味5日間

福地先生送別会費共参加費600円米2升

指導福地先生OB近藤参加11名通い2名(途中から永盛宇佐見) 宿舍は当時の宿直室 炊事当番専任1輪番2

(当番起床6:00 起床6:30 トレーニング7:00 朝食7:40 練習 9:00 ~12:00、1:30~5:30 夕食反省会6:00 就床 9:00)

第1日のみ練習30分ずつくり上げ 夜はルール研究等

ボール5ヶなるも分担修理により10ヶを越す Reの基礎を目標とし、Run,Pa、動きつつする2人Pa、2ndSによる個人ノック、3対1個人Re等を主に行った、Sは午前午後計1時間半位 Bコーナー5、HB4人の間3、他を1点とし採点法により競争してみた

Atも部分的なもの

SReは当分333とし福地先生の強球200本中164本上げる様になる、然しHBのto悪く上がったボールを活かせない。

F陣はto,#プレー、stに全然ふれなかつたので此らの點ではまずかつたが個人ReをBと共にやったのは良かった。

此の合宿でボールの下に早く入れることだけは何とかなる。

尚、VB誌の記事により東レ児島氏にならい砲丸をいろいろに扱って手首を強くすることを始めた 同じく嚶鳴のSは打球から落球迄0.7~0.9秒普通は1~2秒というのを読んでstウオッチで測ったところ4名が1秒以内であった。

金子復帰するも回復充分でなく当分の間HRで軽く練習

毎日風強く特に朝の練習は拭掃除で湿った手に冷い風が当るので全員がヒビアカギレ著しく指の付根の裂けた者も数名あり入浴時は苦痛であった。三日目殆ど全員が参ってしまったので強風の午後を休みとする。

織戸が漬物を大量寄附する。

参加費	6500.00	主食	3024.00
積立	2399.00	副調味	4290.50
その他	540.00	燃料	436.00
計	9439.00	雑費	192.50
		送別会	1485.00合
		計	9439.00

宿舍員(総)

福地先生送別会費共参加費600円米2升 宿直室 炊事当番専任1輪番2

3.25

合宿中練習試合

於船高

船又(21~18)	0市	船又(21~13)	0市
高(21~17)	川工	高(21~14)	川高

強風の為不十分不能。

「前衛が弱い」三月、重量小倉在藤の卒業に加え降川河原雨キラーの退部に川島の病氣は相当の障害だが新宮原M金子を初めとして全員闘志に燃え春休ノ週間の合宿練習を行つた雨と強風の為正味三日の練習であつたがその結果Reには相当の進歩の跡がみられSRでは藤地先生の強球を二〇〇本中一六〇本上げるまでになつて居る、然し其が有効にAされて居ないことはAの弱さよりTOと2ndの拙劣が原因して居るのであり此の練習に努むべきである。

新人では未だ未だ高校級のではないが基礎の安定した永盛(海神)を主起用する。Fには早く使える者は居ないが年終戸が1年生が入ることにならう、2年ではR長島が未だ不安定な所はあるがぐんと伸びて居り山賀は落着いてくれれば相当のもので川上が此に留めて居る。Bは全員相当上達し、宮原から時道スケールは小さいが夫々個性あるボールを打つから小笠原長島の叩を適当に配せば面白くなる、主力は体の割に弱氣な所はあるが柴山の平におも西村を此に加えて行くのが当然である、五人の攻撃はトリックに成功すれば決定的だが此をしくじるとシャット・アウトされるのでBに人があれば是非使いたいととるであり永盛のワークが勝敗のカギとなる、B人共未だ落着きがなく混戦になると弱點を暴露するから今後はB技術の向上を第一目的とし次にスパイカーの養成に力を注ぐべきである。

今の所合費試合数が少くヘッドワークに缺けるが秋迄には此も補えると思ふし、Playの練習がなかりBが出来てくれば好成績を収めることが出来よう。唯、1年生部員の少いことを心細

- 既定メンバー
- 賀盛山
 - 澤村島原原
 - 山永柴
 - 玉西(長官)
 - 小笠

新高新聞
合宿を終了
のチームの展望
主将 宮原副将

排球部報

25.4.20 発行

チームはまき社会 成功した合宿練習

去る3月19日より排球部として最初の合宿練習が一向坂(熊本大学)御茶屋の福地先生と先輩近藤氏のコーチで、2週間行われ、成功裡に終つた合宿で目撃した事はチームの調和とホークの向上並に「レシーブ」の進歩であると思ふ。其「最初の3日の急進する技術向上の原因は合宿カーフの目標に向つて真直に進んで」といふ事。合宿中1日の朝の練習で、ス3身の悪くは着目し、皆案後19時半程まで居た。練習の始終と合宿の進意力はボール集中17H。即ちボールを打つては全員が数中17Hからボールの練習効果がある。次はチームワークの向眼が「合宿中」とチームワークと此とよく言うが、我々の場合もチームワークが此におよぶ。これは合宿練習の細かな点まで心を配つて下し、Fから南まで居るしの合宿生活とお互いに助け合ひ協力し合ひ、そのまゝチームワークと、て渡り、チームワークは、簡単に出来るものでは無い、各人それぞれ出来るよう、簡単から注意して、このチーム一つの生活社会として、チーム全体と個人の関係は、そのまゝ世の中、社会と自己との関係、スポーツにおいて養われる、全体の体験が責任感と、此れは此の練習場にて、自己の分を守り、各自の誠をつくす、このスポーツ精神であり、そのまゝ社会に役立つのであり (宮原副将)

3.28	練習試合	於 雨国高	3 船 高 21~10 13~21 21~17 21~15	中国高	二日間の休みにやうな練習試合を二試合 又は全員の練習試合は5試合 Fは相違の強さがあるが、勝ち負けは関係なく はたしてこの必要、雨国高FRF感服			
4.9	練習試合	於 船高	船 高 0 5~21 21~23 19~21	3 船 橋 高 高				
4.10	練習試合	於 船高	船 高 2 21~15 21~18	0 南 東 高	船 高 2 21~13 22~20	0 南 東 高		
4.22	5校1-7"	於 佐倉高	船 高 0 17~21 15~21	2 成 東 高	船 高 2 21~7 21~6	0 干 葉 高	船 高 0 17~21 5~21	2 佐 倉 高

1位 佐倉 2位 南東 3位 船高 4位 干葉 対南東戦はオープンに便するが、この敗因、対佐倉の(セトは)高校全力を以て好プレーであったが、前衛がやや上り気味であったのがおとし、セトは此度よく14~15と1-1と山々修飾した。常に前山出社と早川のは長者を要する。

4.24		FC 永盛、HL 西村と練習進む。	教員大FL 木村由伸講師として着任(月)(火)にエー干にて下る。その日 聖眼医団体の再会を以て福也君を送る。			
5.13	練習試合	於 船高	船 高 2 21~12 13~21 21~13	1 東 葉 高	船 高 2 21~11 21~11	0 東 葉 高
5.27	5校1-7"	於 干葉高	船 高 2 21~14 21~18	0 干 葉 高	船 高 1 11~21 21~12 15~21	2 長 生 高
<p>一週間の報告に加えて、東陽におよび並原の欠場、又宮原の負傷という悪条件下で、たとはいへ、残りもわずかしか試合であった。従ってこの試合を全員自らの欠点を是れり、来月から今後の目標が明白になる、Eという点では得る所がある。研究費の上、南東大会にも東大会にもよい試合をやる様にしたいのである。</p>						

6.10 第3回関東大会
 於 横浜甲府高
 船0 (12~21) ² 船高 (16~21) ² (横浜一高) 前年団体2位の二高に増身の
 船高 (16~21) ² 船高 (11~21) ² 永盛STEとVのHLに土が5印
 加。HCはトックアローからH
 足許に多量土を差出しT6、金子KTと近江のみB陣は取崩レ
 ミス少し、体育館が大変好くスチ、アローのサブの多い船高は不利で
 あるが全員調子良く最後まで戦ったこととよくとれて全力をこめて
 が出来、喜ばしいことである。

6.17 全日本高校予選
 於 千葉一高
 1回戦 2回戦
 船2 (21~15) ⁰ 船高 (21~15) ⁰ 船0 (19~21) ² 船高 (11~21) ² 長
 船高 (21~15) ⁰ 船高 (11~21) ² 船高 (11~21) ² 船高 (11~21) ²
 対戦生、1セット制の中19~13とリード1点からこの試合第2回タイ
 ンバースを打ち出しサブミスあてス点を取ることが出来、
 スレット目には悪く、追撃する事が出来た。

7.15 練習試合
 於 国府台高
 船2 (21~13) ¹ 船高 (16~21) ¹ 船2 (18~21) ¹ 船高 (21~16) ¹ 船高 (21~11) ¹
 船高 (21~13) ¹ 船高 (16~21) ¹ 船高 (21~16) ¹ 船高 (21~11) ¹
 日府台2へ1得点、
 試合で座談会あり、船高に於ては日陣がひと助かりにホッパを巻成り
 3回にと協会小池氏に挨拶があった。

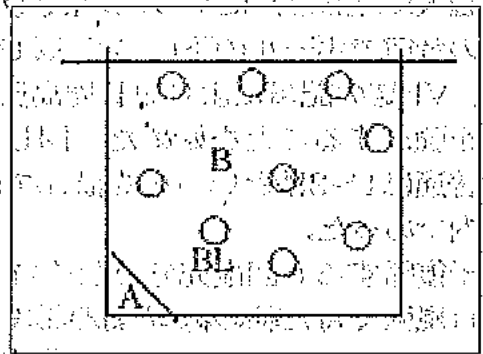
7.21 練習試合
 於 千葉一高
 船2 (23~21) ⁰ 船高 (21~18) ⁰ 船2 (21~18) ⁰ 船高 (21~18) ⁰ 船高 (21~18) ⁰
 船高 (21~18) ⁰ 船高 (21~18) ⁰ 船高 (21~18) ⁰ 船高 (21~18) ⁰
 増員の為ホッパは倒るがFから
 千葉一高とうまく船高のペースに
 引き込んで勝つ。
 月が511早112本で1セット8点に
 およびエからスレット中盤より、本高の
 下とホッパは激苦戦した。

7.30
 2
 28
 [第2回合宿] 25年7月30日集合 8月8日解散 7日解散の予定なるも5日迄毎日時々
 雨が半日雨の状態です充分出来ず1日延ばす此の為経費非常にかかる。
 参加者OB近藤参加13名通い1名、宿舎は宿直室と裁縫室、炊事当番同
 前回
 当番起床5:30 起床6:00 トレーニング6:30 朝食7:10
 練習9:00~12:00 3:00~6:30 夕食反省会7:00
 就床10:00

Atシステムの完成と総合練習を目標とす。At陣自信つくもReの進歩少し。雨の為休が多く疲労は見られなかった。近藤の指導によりHL金子、HR西村と変わる。HLがFLの直後である早Kに手をつける。FL草FR遅の時間差をものにする。

船小体操場と千工体育館を1日ずつ借りたが千工の日(1時半~6時半)は永盛のto実によくHサイドは2米35の#でH線へ叩きつねりもよく利いで居た。F3人対H両サイドと近藤のレバントを含めたst練習及び左右半分ずつのAtによるst練習をやる。

効果あり SReシステム変更。即ちAは来ないし高球に強いHL, BLで止められBには小さく入るボールが少ない。という経験に従って図の如き342とした。25年度中をふり返ってみるとAはJMで1本とられたのみでBは3本とられてあとはHC, HL, BLの3人で拾っているがBの3本中2本が木更津に敗れた1セットのものであるのは不運であった。最終日にはOB海老原の寄附による西瓜を食べ放題で各人の胃袋の大きさが知れた。



参加費6500円 積立4774円。支出詳細不明なるも米の実際量が計算量よりずっと不足し又1日延長の故もあって相当購入した。

金子

8.26	練習試合	於 墨田川高	船高 3 (21~9) ⁰ 墨田川高	
			船高 (21~11)	
			船高 (22~20)	
8.27	練習試合	於 船高	船高 2 (21~10) ⁰ 市川工	船高 2 (19~21) ¹ 千葉二高
			船高 (21~14)	船高 (21~18)
				船高 (21~11)
9.2	5校リーグ	於 船高	船高 2 (21~10) ⁰ 長生高	船高 2 (21~7) ⁰ 千葉高
			船高 (21~15)	船高 (21~10)
9.17	練習試合	於 口府高	船高 2 (21~21) ¹ 口府高	船高 2 (21~14) ¹ 口府高
			船高 (21~12)	船高 (6~21)
			船高 (22~20)	船高 (21~11)

[第3回合宿]

25年9月18日(日)久しぶりに木村氏来校、国予に備え是非合宿せよとの命に翌日より集ることに決定 米1升 参加10名通い2名
 宿舍宿直室 コーチャーの都合といふ理由で午後の授業出席を三日間特に免除さる 尤も午後は空時間の者が大部分であった。
 炊事、朝は同前回、昼は3,4限の空いて居る者で男女不問、夜は女子に依頼 19日1時~6時半の練習にくたくたになる。
 20日6時~7時半Sとパートpa午後降雨の為に宮中講堂を借りる Reと山賀好調なるも長島過労金子休、柴山ボールに乗って右足首捻挫
 21日朝なし、柴山休西村発熱、高い2ndSがとれずpa悪い為to決まらず
 22日朝なし、午後少々Sと2ndSによるAt柴山もやってみる 全員疲労気味なるも元気に解散
 積立金より2610円、副食ややぜいたく。

金子

9.23

オミ回県高球選手権
兼オミ回団体予選

松 回 街 道

船 2 (18~21) | 安 疲弊の盛のサイトなし 3Eト 10~11にて
 高 (21~14) | 身 不調に6番に下て居る金子のS3あり
 (21~14) | 備. F3のT1点7つで17~11と離り柴山
 船 2 (21~7) | 東 前試合に反有奮起
 高 (21~11) | 金 1Eト 1~8よりS3等て10~11 16~14
 船 2 (23~21) | D 20~18より FL Tで選り。2Eト 9~3
 高 (21~18) | 高 1)S3始4~ト、最後に熱戦おくや、E。
 永盛判身味でRへto 練習時。西村山賀永盛でよく千葉HLと比べて居る。千葉FLにはFRFCが比てBLE HC、HL前には少しええととれた。小笠原の解は3~7に1~1のTは又にもあることかと思はれた。
 船 1 (16~21) | 又 佐倉に勝つと安心して月前の敵を忘れ
 高 (21~13) | 夏 捨身の木高に1EトE身自身Eをたせて
 (15~21) | 高 した。木高FCの予型外のAをF陣
 があわてEこともあつてFかてそれにはFCの足長T、FLのストップに当
 E2E Tかよが545からEト3~7も責められ、柴山の足外故障が利き
 始め精彩を欠く。3Eトは10~6よりAMスあり10~13と挽回し
 T4KスEは544、敗れた。不賞の一戦であった。

準決勝

FL	FR 2	FC 3	FL 5	HR 9	HC 4	HL 6	DR 7		BE 1	BL
	小賀	永盛	柴山	西村	玉沢	金子	長島	小春	宮原	小笠原
得 5	12	7	35	4	0	43	0	0	0	0
	0	4	6	4	6	3	0	0	4	3

敗戦の予感不測 日軍の本高Fに完全には拘束されては、マフエにいたFLを使い
 ぞ、当てていたHR↑全総動員がた、Bは着るのか遅くBマフに弱むた、これが原因でか
 総合力かほ子かに優水た、我々が勝てたか、相手をあてたか、F高の相対せつを早見
 捨身の木高に相高恐るに足らずと意気高らしめた事、それにかかり、ス3Eに先着る
 支離れの出たであつた。

10.22 桜田県総選挙

於 松戸高 加根3行のリーグ戦

ブロック手選

船又 (21~7) 0 日
 高 (21~9) 府
 船2 (21~15) 0 野
 高 (21~5) 田高

□ 府省新人選の構成を早見
 野田高もス3Eに目全く勝る
 我々の一時的割合であつた。

11.3

船高市民大会

於 船高

船又 (21~15) 0 日
 高 (21~3) 本選

船1 (21~14) ス
 高 (16~21) 第二
 高 (15~21) 増
 高 春

11.5

中野回総選挙
 於 四街道
 日中 早決勝

船又 (21~17) 0 日
 高 (23~21) 本原
 船0 (14~21) ス
 高 (16~21) 秀

船2 (21~10) 0
 高 (21~9) 秀

敗戦 実秀クのFL一本むとの得、自分の口から出て金子のKが
 1点であるのをみても、11かにスガが勝るがたかた。ス3Eに4~12から
 11~12、15~15と連日作ら、その後T午決まり山賀1点を逆り自勝るか
 った。この大会山賀の時間差が良く決つた。

11.23

新人戦

於 日府高

① 船又 (19~21) 1 日
 高 (21~13) 府
 21~11
 ② 船2 (21~17) 0 市
 高 (21~13) 川
 高
 ③ 船又 (21~6) 0 市
 高 (21~11) 川
 高

伊勝

船0 (18~21) 2 子
 高 (12~21) 葉

1Eに18~14あり
 2Eに12~12あり

- 5 FR 山賀
- 3 FC 永盛
- 6 FL 内田
- 2 HR 撒戸
- 9 HC 幸根
- 7 HL 豊田
- 8 BR 長鼻
- 川上
- 1 BC 大島
- 4 BL 中尾
- 渡辺

12.22

練習試合

船新 3 (21~12) ス
高 1 (14~21) 三
1 (21~18) 年
1 (14~21) 生
1 (21~16) 。

25年度男子。 2人の重量Bを送り出た後と敏捷なタイプの3人で補充し、初の合宿を行
 った。前年度の決着1試合分を一掃すべく早くから準備して迎えた年であったが、前半はボールがス
 ムーズに動かし、良さを示すことなく週レ、7月からはKCLと進歩1本がらも結局土曜場
 行とFCの若と、主力HLの病身、Rc陣のキャスボールに對する弱さというFCの
 11レと進は、何のタイトルも握ることなく、○の新型、H.雨サドのストップが加、*行トス
 FIHLのOボールスイング、時間差丁等のボールを取り入れたFCは、23年度と異に、
 其以上に多く練習1本と思われ倍音を繰返ねらるるが、前この年子クラブと合宿して
 居たせいもあるが、試合過多気味で、最高試合数は44試合、104セットが2人、残り7
 44試合、102セット、40試合、93セットとある。

【昭和25年度】

収入の部 34,207円 (生徒会費 34,000円、繰越 207円)
 支出の部 34,008円 (ボール費 16,100円、備品費 2,654円
 交通費 10,140円、その他 5,114円)
 差引残高 199円 (注)ボール単価 約1,400円
 (運動部費総額 207,450円)

昭和25年度 高校男子 (舎クラブの出場)

打順	位置	氏名	試合数(打点)	学年	OB 率	OB 率
15	BO BR	宮原 武夫	44(104)	3	26/3	
25	BL FR	金子 一雄	44(102)	3	26/3	
37	BO BL	永盛 昌敏	40(93)	1	28/3	
45	HO	玉 澤 俊夫	39(90)	3	26/3	
25	BL	小笠原 博司	36(85)	3	26/3	
45	BL	柴 山 雄	44(104)	3	26/3	
7	BR	長 島 洋三	25(56)	2	27/3	
28	FR	山 賀 繁夫	37(86)	2	27/3	
28	HRE FO	西 村 英男	35(83)	3	26/3	
87	BR FR	小 暮 健	11(23)	2	27/3	
7	BL HL	花 澤 保夫	17(17)	1	28/3	
7	HBO BR	宇佐見 武夫	10(12)	1	28/3	
1	BO	大 島 一 郎	3(6)			?
2	HR	織 戸 日出夫	3(6)	2	27/3	
4	BL	中 尾 学	2(4)	2	27/3	
4	BL	渡 邊 肇	1(2)	1		28/3
6	BL	内 田 幸雄	3(6)	1		?
8	BR	川 上 福治	1(2)	2		27/3
合 計			現37(87) クラブの一部			

25.4

女子

新部員15名迎える夏までには9名とある。以後6名とあり
年末28名加えて12名で平年度に達した。

2.22

練習試合

於 浦神中

女子の初試合

船^上 (21~16)⁰ 基 船 1 (15~21)² 浦
高 (21~18) 師 高 (21~12) 神
中 中 中

「部 報」

「排球部報」は昭和25年4月20日付を第1号として、同年11月1日付の第4号まで発行されたのであるが、諸事務がそれ以後2年生に移管され部報発行を継続する者がいないままに自然絶版となった。そもそも

「排球部報」発刊の動機は、昭和24年秋頃より25年にかけて学校内に流行した謄写版刷りのクラス新聞、その他パンフレット等に刺激され

て、25年3月末の合宿に於て提案されB5版(藁半紙半截)で月刊という形の予定をとり印刷発行されたのである。けれども実際には練習、合宿に災されて月刊とまではゆかなかつた。

以下簡単に号を追って当時をしのんでみようと思う。

第1号 4月20日発行

○論説 忠実なるバレー人たれ

○チームは生きた社会 成功した合宿練習 主な見出しはこの二つである。

周知の如くこの時代、即ち昭和25年度卒業生が最上級生となる頃は、船高排球部創設以来の最沈滞期であった為に紙面もチームメートを激励する記事となっている。論説は"安易な道を歩むを避け、忠実に誠心をもってバレーに接せよ"と述べ、合宿感想はチームワークの重要性を説き、自己の持ち場を守れといずれも奮起要望型である。一般的記事

としては、バネの訓練、スコアブックの記入法、練習試合の記録などがある。

第2号 6月10日発行

○優勝 佐倉を下す—第三回県民体育大会—

○努力が第一 しかし勉強を忘れずに (註、福地先生書簡)

第三回県民大会排球の部で、船高クラブとしてOBとの混成チームで出場し見事優勝した記事が一面の半分を占めている。裏面の福地先生からの書簡は、この優勝に対する祝辞であり、同時に警鐘でもあるだろう。それは"運動を通じて精神的にも物質的にも高度の文化人たれ"とらんとしている"事を理解させたい親心からだ"と感ぜられる。その他は校内排球大会の記録、新部員名簿がある。新部員は男子6名、女子15名と記載されている。

第3号 7月23日発行

○論説 愛する心

○又も長生に敗る 県大会・全日本予選

○女子初試合

女子排球部は前年から存在していたが僅か三人とあってはチームとは呼べず、有名無実の感があった。しかし15名の多数入部により一日ごとに活気を帯び、漸くチームとしての形を整えつつあった。けれども残念なことに統一されたチームとは認められず、絶え間ない内紛が続いたので論説は"他を愛する事、それはとりもなおさず己を愛する事である"とやや宗教的とも云えそうな一文を掲載した。丁度その頃男子チームも全日本高校選手権予選の2回戦に於て19-13より逆転され、長生高校に名を成さしめた事を報じている。この記事は船高の弱点をさらけ出したのであり"又も……"という見出しと共に後輩諸君の胸に銘記しておいてもらいたいと思う。女子が中学2校を相手に初試合を行い1勝1敗の成績をあげたのもこの頃、7月23日ある。"初試合としては良く出来た方だ"という箇所は女子部員をどんなに赤面させた事か。その他には、チーム展望、夏休計画などがある。

第4号 11月1日発行

○論説 早く集れ

○不覚の一戦、国体への野望潰ゆ

○敗戦から学ぶもの

最終号となった本号は「宿望消滅号」である。論説は一般的に「日は早く沈んでしまうというのに、全員コートに集合する迄長時間を要する

のはどうした訳か」と警告し、国体関係の裏面は「我々の夢が破れた」と嘆き、その反省欄に於て、「終局を追いすぎ目前の敵を軽視した為

思わぬ所で敗れてしまったが、トーナメントは一戦一勝主義ということ

を忘れず慎重にすべきだった」と述懐している。

その他の来年の合宿に望む、今度こそは(註 11月5日に行われる県総

合選手権に対するものがある。

ざっとこんな所であるが、編集、印刷は西村が担当したことを附記

しておく。

西村

排球部報

全卓慶明り分載
六月二十五日、正午迄
SC 毎日印刷部宛40用

優勝！佐倉を下す

風雨にもめげず奮闘

二回三回県民体育大会

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

校内Aリーグ

五月二十一日、於千部
排球部 2-19 1 後員
現後 0-0 2 角を和え

福地先

五月十三日、於千部
排球部 2-19 1 後員
現後 0-0 2 角を和え

五月十三日、於千部
排球部 2-19 1 後員
現後 0-0 2 角を和え

五月十三日、於千部
排球部 2-19 1 後員
現後 0-0 2 角を和え

がむしやらに動け

五月廿日(日)小雨の中、八時半から、県民体育大会、排球部が、熱戦を演じた。佐倉を下す。...

努力が第一

しかし勉強を怠れず

（前略）... 勉強を怠れず、努力が第一である。...

（前略）... 努力が第一である。勉強を怠れず、努力が第一である。...

（前略）... 努力が第一である。勉強を怠れず、努力が第一である。...

この試合を慎重に

最後の一点追

（前略）... この試合を慎重に、最後の一点追。...

（前略）... この試合を慎重に、最後の一点追。...

今年の強敵を

新部員を

（前略）... 今年の強敵を、新部員を。...

SCHEDULE	
五月十日	対 〇
五月十一日	対 〇
五月十二日	対 〇
五月十三日	対 〇
五月十四日	対 〇
五月十五日	対 〇
五月十六日	対 〇
五月十七日	対 〇
五月十八日	対 〇
五月十九日	対 〇
五月二十日	対 〇
五月二十一日	対 〇
五月二十二日	対 〇
五月二十三日	対 〇
五月二十四日	対 〇
五月二十五日	対 〇
五月二十六日	対 〇
五月二十七日	対 〇
五月二十八日	対 〇
五月二十九日	対 〇
五月三十日	対 〇

777

25. 4. 7	練習試合	於 船橋 0 3 21~5 0 現 B (22~20) 役 21~9
5. 3		県民体育大会に備え、現役と合符練習。現役6 + OB 3 = 9。
5. 17	県民体育大会 千葉県予選	於 千葉大 船橋 2 (11~17) ¹ 船橋 2 (21~19) ⁰ 豊 船橋 2 (21~15) ⁰ 千葉大 橋 (18~21) 橋 (21~19) 葉 橋 (21~1) ク (21~10) 高 ク 高 ク 高 優勝 2セット千葉BC成用の連続サーブポイント4に1~7 と5点9~9、17~16からT2築山サーブポイント5 以降。3セット14~13よりT2の意欲が衰える。Bの不 正もあると、E 4、3、2で、Eが却って良く、サ ブが楽になり、AとBの下の早Tも良くまわった。B陣中 申分なく動いた。
5. 20	第3回県民大会 (優勝)	於 千葉大 県警グランドでの南会司と途中で休んでまでおと、他予 一ムは既に練習中の直ちに南戦。 20日 船橋 2 (21~12) ⁰ 市川 船橋 2 (21~19) ¹ (優勝) 橋 (21~11) 高 橋 (11~21) ク 高 ク 高 21日 船橋 2 (21~4) ⁰ 成 船橋 2 (21~16) ⁰ 佐倉 橋 (21~9) 東高 橋 (11~18) ク 高 ク 高 サ-ビツエ-ス 船橋 9 佐倉 6 接戦であったが 大1E試合ではなかった。強固の歳サーブが使用し、試合の興味が半減した。ダブル フォルト、Bのサーブサーブの得点が多いEは強固のセッターである。
5. 21	練習試合	於 千葉大 船橋 2 (21~14) ¹ 現役 現役10B2名Eを加えて行う。 橋 (19~21) 員 役員は久野氏主力であるが ク 21~11 トスカエが活躍する。
6. 4		一般選手及び選手会通知の通知が出席できなかった。
6. 25	全日本選手会予選	於 四街道、一般、奥業団、高校者2個チームの参加あり。6月4日 の一般選手会の通知の通知が出席できなかった理由を請う。協会の引越 出席と現任の理事会では認められず、各チームの長が実現せず。優勝1E 津田浩二と乱打。

27	併友クラブ結成 記念招待試合	於 回街道 併友クラブ 佐身高OB. 船 2 (21~16) ⁰ 併友高 橋 (21~12) 夕	船 2 (21~9) ⁰ 肉屋高 橋 (21~9) 夕	船 1 (21~19) ² 併友夕 橋 (16~21) 夕 (21~23)
<p>大変は砂嵐を打上り烈風にはついでに4, 3, 2で対戦した。練習不足に加えて強固な風が吹いた。しかも強風とはいえSSが吹きまわす(17)。エドサインの位置と体の向きを側面から風には耐えらぬものである。むしろこれを利用して有効なカットがまわすことができた。強風が利用次第。</p>				
8.27	合併練習	9時半~5時半 二入に練習試合は珍らしい。		
9.3	練習試合	於 船高。 船 2 (17~21) 1 口 橋 (21~15) 併友高 夕 21~13		
9.10	団体予選	於 回街道。 船 0 (23~25) 2 実高 近藤商製の点HLFが 橋 (20~22) 夕 与川=凡ク又連戦。		
10.22	果敢な選手権 マレット予選	現役 船高単独予選での優勝と併せてクラブとして合併試合中止。		

昭和25年度 クラブ (除 現役出場者)

打順	位置	氏名	試合数(セツ)	OB率	同級生率
26	FO HE	近藤 弘 男	9(21)	24/3	
25	PL WR	高橋 鋪	10(22)		?
24	EL PO	池田 清	10(23)	24/3	
23	HO HR	海老原 金太郎	8(18)	24/3	
22	EH DO	加藤 忠 太	10(23)	24/3	
		合 計	-		
		現役との総計	47(110)		

26.1.24	クラブ協会	新卒卒業に於り一応OBの対してメンバーが揃うので正式にクラブとして承認するに比しその中回総会を待たぬ別マック役員等と決まり 会費1ヶ月100円初旬納
		会長兼主持 池田 清 (24/37)
		副会長 近藤 弘男 (24/37)
		マネージャー 官原 副次 (26/37)
		〃 金子 一隆 (24/37)

船橋市・市協会の動き

国内（社会一般）の動き

昭和25年（1950）

10. 第7回国勢調査 人口 83,348人
世帯数 17,555

- 1. 千円札発行
- 6. 朝鮮戦争勃発
- 7. 金剛寺夜火焼失

NEWS	MOVIE, SONG	BOOK	LIFE	SPORTS
	歌 水色のワルツ	映画		700野球 ナイフ定改
	東京キッド		ファタレイト人の恋人	
	5才の歌			
	白川花の咲く頃			
	トイカ		第1回ニ又日本 山本富子	
	ハルヤ、ムーン			
			雑誌復刊 5月、7月、15月	

4.21	練習試合	対 山口府台高	船 2 (21-15) 0 高 (21-6) 府台高	船 2 (16-21) 1 高 (21-13) 府台高 23~21	船 1 (18-21) 2 高 (21-15) 府台高 8-21
------	------	---------	-------------------------------	---	--

5.5	練習試合	対 東葛高	船 2 (21~3) 0 高 (21~11) 東葛高	船 2 (16~21) 1 高 (21~11) 東葛高 21~10	
-----	------	-------	-------------------------------	---	--

5.26	第4回全日本高校 2位 予選	対 四街道	船 2 (21~11) 0 高 (21~5) 四街道	出足早く追撃に移るからは右左からの攻撃を圧え た。2点目はイングリットおるエター攻撃を主として比が 精神的に良く右をマークは相手側と欺瞞が比が速い凡そ多く自滅した。	
			船 2 (21~16) 0 高 (21~7) 東葛高	同様に成果の9は同下対抗時一度アツクから沈み 急ぎ勝った。総2点目は逆アツクより着々と得点 レ双方向合わせて15であった。前アツク力の差がスコアに現れた。	
			船 2 (21~9) 0 高 (21~18) 東葛高	1点目アツクポイント10と夢が優勝1点2点に あつた身命的な強みか得点に現れた得点。	
			船 2 (21~14) 0 高 (21~18) 東葛高	得点4点中アツク得点33は好調な得点に示す。	
		17勝	船 0 (12~21) 2 高 (18~21) 東葛高	記録上から判断は危険な得点か助因は逆アツク アツク得点26~18 失点24~4 とる。	

得	失	失	失	失	失	失	失	失	失	失
FR (3)	FC (3)	FL (3)	HR (3)	HC (3)	HL (3)	BR (3)	(2)	BC (3)	BL (3)	
山賀	永盛	金子	柳戸	牛根	伊藤	長谷	花沢	水暮	中尾	
42	42	16	3	0	0	0	0	0	0	
6	9	1	3	3	4	0	2	7	4	
23	11	8	5	11	10	7	1	6	6	
2	11	3	7	3	5	1	3	10	7	

6.9	練習試合	対 干葉高	船 2 (21~13) 0 高 (21~17) 干葉高	船 2 (21~15) 0 高 (21~14) 干葉高	
-----	------	-------	--------------------------------	--------------------------------	--

6.17	全日本総合予選	於 四街道 一般、舞岡、高校の各2位迄に行進された。
		船1 (21-19) 又 前日の雨でコート敷弱シ多く見物 高 (11-21) 前 独り永盛のコントロールしたカーブが目 11-21 会 立った。
6.23	関東大会	於 郁文館高
	23日	船又 (21-10) 都 船又 (21-12) 雨 高 (22-20) 正高 高 (21-11) 国高
	24日	船1 (21-11) 又 春 1セト 春日部空力FLマウ取中シットアウト 高 (16-21) 日 1セト 2セト後 HRの威嚇攻撃による 8-21 部 ストップ陣の乱れとFLに衝かれた。第戦目 高 矢敗を痛感地した一般であった。
2.8	練習試合	於 千葉高
		船又 (21-16) 成 船又 (21-18) 千葉 高 (21-8) 集 高 (21-15) 高

[第5回合宿]

26年7月25日～31日 指導田中先生参加11名通い1名 宿舎は当時の裁縫室
 春の大会から他チームの力量を知り得たことにより、如何なるチームに対してもT攻が得点力多大であることに着目し、F陣のコンビ攻撃に重点を置いた。又Sにも春同様練習時間を多くし、FL金子の早T、FR山賀の平行to攻撃、FC永盛のR側からのTと共に主練習とした。HによるKは確実に打込むこととし、St.Out等微細な技術の習得の為の練習は割愛した。
 最終日の午後市川高と練習試合を行ったが合宿の成果は全然現われなかったのみかF陣のSt不参加は怠慢という他はない。福地先生が後半に来訪され含みのある指導をなさうた。合宿半ばで監督の帰郷等があり些か指導者の一貫した方針が具体的に実行されない点があったのは遺憾であった。炊事は晝夜を女子部員が手傳い、朝の仕度と夜の後仕末を合宿員で行った。
 費用一万余円中、参加費を250円とし、部費より七千余円を補助したことといい、女子部員の炊事手傳いといい、新監督の方針により以前の合宿概念を覆えされた感が深い。

2.3	練習試合	於 日本陸
		船又 (20-27) 星 船又 (21-17) 三 高 (21-11) 陸 高 (21-10) 葉 21-7 会 佐 日本陸戦、HC花球後骨骨折当合運動禁止

8.30 練習試合 於 千葉商
 船2 (21-12) 千葉商
 高 (16-21) 千葉商
 21-10

9.16 柏田園体大会
 高松の部
 Boat 4
 於 四街道
 船2 (21-14) 長狭商
 高 (19-21) 長狭商
 21-16
 船2 (21-9) 長狭商
 高 (19-21) 長狭商
 21-9
 船2 (21-12) 佐倉商
 高 (21-13) 佐倉商

準決勝
 船1 (22-20) 千葉商
 高 (11-21) 千葉商
 17-21
 1対1目連撃存。2対1 8-8にて審判員のミスアウトに決まり外野の誤りで審判に加点され4対1の試合になった。直接自接に敗戦が作られた。3対1目ミスマークとあるが4-8からの4点差縮められ"惜敗"。

	FR 5	FL 2	FL 4	HR 6	HC 0	HL 9	BR 8	BC 1	BL 7	計
	山貴	永盛	金子	藤戸	川暮	伊藤	宇佐良	長島	中尾	
得	35	26	35	6	0	7	0	0	0	109
失	3	4	7	1	2	1	4	3	4	29
失点	13	13	17	11	6	6	3	6	2	77
失点	3	1	8	8	4	4	8	5	10	41

11月の総合選手権は予選が運動会と重なるため出場できずOBと交換するに決めた。

11.3 船橋市民大会 於 船商
 船2 ~ 0 千葉商
 高 千葉商
 決勝 船1
 高 (21-10) 千葉商
 (17-21) 千葉商
 (18-21) 千葉商

11.23 練習試合
 船2 (21-12) 千葉商
 高 (21-14) 千葉商

11.24 新人戦 於 千葉商
 船2 (21-8) 千葉商
 高 (21-11) 千葉商
 船2 (21-11) 千葉商
 高 (21-15) 千葉商

12.7 練習試合
 新1 (21-18) 千葉商
 高 (17-21) 千葉商
 18-14
 3対1目日没100ゲームとる。

12月中旬に27年1月一杯かけて男女二面の立派なコート完成です。

昭和26年度 高校男子

打順	位置	氏名	試合数(セツト)	得点	本塁打
1.6	BR BO	長島洋三	22(47)	3	
1.2	BO HO	小暮健	25(59)	3	
2.3	FO	永盛昌敏	25(59)	2	
4.6	HR	郷戸日出夫	23(55)	3	
5	FR	山賀繁夫	25(59)	3	
6	HL	伊藤明	21(39)	3	
7.4	FL	金子明	25(59)	2	
8	BL HO	花澤保夫	18(38)	2	
9.7	BL	中尾学	18(40)	3	
8.9	HO BR	宇佐見武男	24(53)	2	
9.9	HR	加藤潔	5(9)	1	
1.3	BR	渡邊肇	7(7)	2	28/3
6	HL	豊田隆	3(7)	2	28/3
8	BL	市原源吾	7(7)	2	28/3
7	BL	坂井忠夫	7(7)	1	28/3
		合計	25(59)		

[昭和26年度]

収入の部 54,199円 (生徒会費 44,000円、演芸大会益 10,000円
繰越 199円)

支出の部 54,199円 (ボール費 18,200円、備品費 7,525円
交通費 7,509円、その他 29,894円)

差引残高 0円 (注)ボール単価平均1,300円
 運動部費総額 339,000円
 (演芸大会利益金配当運動部総額 104,200円)

好

4.19	練習試合	於 口府高	船0 (20~22) / 口府高	高 (15~12)	1 日 降雨の爲 10:45~
4.28	練習試合	於 口府高	船2 (22~20) / 口府高	高 (21~16)	0 日 新入生の部費を迎えて初勝利。
5.3	練習試合	於 日本主観	船0 (10~21) / 口府高	高 (18~21)	2 FC 伊藤久場
5.6	練習試合	於 船高	船2 (21~18) / 日本主観	高 (8~21)	1 日本主観
5.12	24回集件試合	於 四街道	船2 (21~13) / 船高	高 (21~16)	0 空手高
	Best 4		船2 (22~20) / 船高	高 (14~21)	1 船高
			船1 (21~17) / 船高	高 (18~21)	2 船高
			船1 (10~21) / 船高	高 (10~21)	2 船高
<p>本高戦3回と自初めはF陣とHCに2対1で勝って5~10、それ以後は中>と成り果 味で2対1でFLEに勝つTIE得点のみを敗した。</p> <p>3位決定戦。非常に良く対戦、初めの3日しか行わな 船0 (17~21) / 船高</p>					
<p>16~16の5引は2対1。それ外FLTFL~8 とそれ以後は南1対1はあつた。</p> <p>南 意高 ></p> <p>それ以外の試合としては好成績であった。Best 4、全員良く試合してF✓4~7~6度 <1>実力を余す所なく出し出して身持良かった。</p>					

(年)	FR (2)	FC (2)	FL (5)	HR (2)	HC (2)	HL (1)	BR (1)	BC (2)	BL (1)
1980	8	3	5	7	6	4	2	1	9
池田		伊藤	飯島	中台	麻生	渡井	久吹	並原	中野
得	2	24	24	0	0	4	0	0	0
3	2	1	1	1	2	4	4	2	3
欠 124	19	20	21	10	17	10	2	0	0
欠 33									
欠 8	4	0	4	18	8	4	4	5	5
欠 5									

5.19	全日本高校予選	於 四街道	船2 (21~17) / 船高	高 (21~19)	0 船高
			船1 (14~21) / 船高	高 (21~12)	2 南 (船高)
			船1 (7~21) / 船高	高 (7~21)	2 南 (船高)

7. 21 練習試合 於 明德高 明德高 課一, 課二, 課三,
 船又 (21~18) 1 干 (課一) 船又 (16~21) 1 干 (課一) 船1 (21~6) 2 明德高
 高 (18~21) 干 (課二) 高 (21~15) 干 (課二) 高 (19~21) 明德高
 21~14 高 21~8 高 (13~21) 明德高
 豊田 S 6 E 拳 知吹 S 4 E 拳

時自の都合で課二高 (課一兼好高) と本場を以て残念。

8. 1 練習試合 於 財市高 船高 1~2 財市高

8. 23 練習試合 於 課三高 (現課兼高)

船高 2~0 課一高 船高 2~1 課三高

9. 18 練習試合 於 船高 : 船高 2~0 船高

9. 22 団体予選 於 四街道

船又 (22~20) 0 干 (課二) 船0 (20~22) 2 豊田高
 高 (21~17) 干 (課三) 高 (9~21) 干 (課三)

	FR 6 中倉	FC 3 伊藤	FL 8 中村	HR 7 佐野	HC 2 矢吹	HL 4 渡井	BR 5 豊田	BC 1 菅原	BL 9 中村
得	4	16	11	0	0	10	0	0	0
S	0	1	0	0	0	2	1	1	0
M 24	7	15	2	2	4	2	0	2	3
M 3	7	1	1	0	4	7	5	2	5

10. 6 奥東総合 於 跡見学園

船又 (13~21) 1 干 (課一) 船0 (11~21) 2 北野高
 高 (21~18) 干 (課二) 高 (18~21) 干 (課二)
 21~11 干 (課三)

北野高戦 全然中身の悪い試合で不利な状況。1本と3本
 K1は許さるがFのFは凡ミスばかりで致し難い。セット17~14から
 18~18と此れ再びミスが連続する。

昭和26年度 高校女子

→ 同級生名簿

打順	位置	氏名	試合数(出場)	学年		
1	BO	笠原 孝子	18(43)	2	28/3	船橋市正船 4-18-14
2.6	FR BR	中台 光	18(43)	2	28/3	
2.9	HO BR	矢吹 初美	15(38)	1	29/3	
3.5	FL FO	伊藤 節子	17(41)	2	28/3	
4	HL	淺井 登世子	18(43)	1	29/3	
2.5	BR	豊田 とき	8(19)	1	29/3	現姓 石井と子 船橋市高根町 1346
6	HO	成生 幸美	10(24)	2	28/3	現姓 横山幸美 八千代市八千代 6-1-7
7	BR	石毛 三代	8(19)	1	29/3	現姓 牧野三代 印旛郡栄町 3711
7.6	FL HR	杉山 もと子	2(3)	1	29/3	杉山もと子 習志野市久保 3-15-21
5.8	FR	池田 高美子	10(24)	2	28/3	現姓 岡野高美子 船橋市高台 2-5-4 ~607
3.9	FL	飯島 あい子	9(17)		?	
8	FR	岩佐 美代子	4(7)	2	28/3	八千代市泉町 873
7.6	BR FR	中村 ゆき	8(17)	1	29/3	現姓 石井ゆき 船橋市本中山 4-23-5
9	BL	中村 蓉子	15(38)	1		
	BR FL	合 計	18(43)			

777"

26.4.1	初練習	7名参加 ユニフォーム新調 緑地に黒下を左腕に.
4.8	練習試合	船高 2 (21~18) 1 船高 2 (21~15) 0 船高 (15~21) 船高 (21~17) 船高 21~12

4.15	園藝社入大会	於 津田沼一中
		船高 不 六 船高 2 (22~20) 0 船高 2 (21~19) 1 船高 戦 高 船高 (21~18) 全 船高 (11~21) 高師附属 船高 勝 船高 館又 21~13 船高

	準決勝	船高 0 (4~21) 2 船高 2 (21~18) 0 (5~21) 船高 船高 (15~21) 船高 船高 2 (21~18) 船高 (21~8)
5.3	練習試合	個人技の低下著し。

5.12 桜田県大会 県民大会より予選あり、三菱、日産、鉄共不参加のため船橋市代表と対戦
 於 四街道

	2位	船高 2 (21~8) 1 船高 2 (24~26) 1 (24~22) 船高 船高 2 (21~9) 0 (21~18) 0 船高 (21~6) 0 船高 船高 船高 船高
--	----	--

船高 0 (18~21) 2 船高 2 (21~9) 0
 (21~23) 船高 船高 船高 船高
 (伊藤) 1セット常に若手の11-10を保ち7>。18~16、2:0 HL、FL各2得点を許しセット失う。
 2セットミヨービ-4535の両チームHL一本槍で単調に過ぎ、18~18、21~21、棋友HLKの後、直藤(HL)が中FLへの早口に金子(FL)のトス高打で返した。決勝のみ記録、下記メンバーの他加藤云出で出場、社入大会以来反響の色濃く善戦す近隣敵向賞を受く。

	FR 6	F 4	F 2	F 2	F 8	HR 9	HC 7	HL 3	B 1	B 5
得	山貴	永盛	池田	金子	高橋	西村	海老原	近藤	宮原	小菅原
得	0	1	0	5	0	0	0	11	0	0
S	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
欠124	3	1	2	5	2	1	4	6	1	2
欠35	0	1	0	2	0	3	3	1	4	2

4.9.2 279. *観役

5.20	練習試合	於 口府台高	船 2 (21~15) ⁰ 口府台高 船 高 (21~15) 高	船 1 (21~9) 口府台高 船 高 (19~21) 高 船 高 (15~21) 高
6.10	松田県一般選手権 Boat 4	於 田街道	船 2 (21~16) ⁰ 松田県高 船 高 (21~15) 高	準決勝 船 0 (17~21) ² 津田沼高 船 高 (14~21) 高

2/21 > 2/22 > 野師にて協会主催講習会あり。池田、金子講師として行く。

2/27	練習試合	於 千葉一高作庭館	船 0 (7~21) ³ 津田沼高 船 高 (16~21) 高 船 高 (20~22) 高	県一般選手権優勝全日本の箭球会差別 試合を計画し、安房高、津田沼高、箭球会 と招く意向。津田沼高の時来り。
------	------	-----------	--	---

9.9	団体練習	於 田街道	船 1 (21~10) ² 松田高 船 高 (13~21) 高 船 高 (23~25) 高
-----	------	-------	--

11.3	船橋市民大会	船高 2~1 日本建鉄 準決勝	船高 0~2 精工会
11.11	第4回松田県選手権	於 田街道	

(2位)

船 2 (21~9) ⁰ 千葉一高 船 高 (21~8) 高 船 高 (21~8) 高	船 2 (0~21) ¹ 市川高 船 高 (21~5) 高 船 高 (21~8) 高	2位初め、市川高より現役 との合併不可との抗議あり。協会 では審判、1位、2位とある。
船 2 (21~10) ⁰ 千葉一高 船 高 (21~8) 高	船 2 (19~21) ¹ 安房一高 船 高 (21~13) 高 船 高 (21~19) 高	決勝 船 0 (18~21) ¹ 箭球会 船 高 (10~14) 高 日受のDチーム

26.11.13 千葉新聞(朝) - 船高のチームは練習不足の故か、ゴールにまじり
り見せぬ"チームワークの必要を痛感せられた"船高は此等の難を
除き優勝に達し、中でも佐藤 金子の技巧と力は著して居た。

11.18	決勝再試合	於 千葉市民大	船 0 (13~21) ² 箭球会 船 高 (20~22) 高	両チーム共 11月11日の調子が凡庸。 おむかに箭球会の天気予報。セットや リートが17~17あり、17~20とあり、挽回はせず、両チーム共悪いと3分 (1日の雨は、道る、健闘)に比して余りにも惜しい一日であった。将に選別者の 多かりたことは悔しい。決勝進出が望外の幸であったと知る者も彼らと べく11日のプレーと持続以上の夢を泡沫、国、市民大会の恩を3度か 練習したことは残念であった。
-------	-------	---------	---	--

[第6回合宿]

27年3月24日～30日 旧宿直室を宿舍とす。

指導田中先生OB西村、参加8名通い2名

参加費350円、米3升5合、参加費計3,150円の他に積立金より3,600円、西村寄附1,000円、炊事第5回に同じ。

(当番起床6:00、起床6:30、トレーニング7:10～7:50、

朝食8:10、練習9:30～11:40、 1:30～5:10、

夕食反省会6:00、就床10:00)

基礎技術習得を目的とす、Fコンビに於いては特に内藤にボールを集めてtoを捌くことを主眼とす。Sにも重点をおき毎日午前中は全部Sにあてたのでその向上著しく入率も0.56となる、然し依然として上下の差が大きい、進歩が特に大であったのは加藤、内藤はボールの下に入るのには速くなったがその後の動作が緩慢でTにも鋭さが見られず、永盛は少々オーバーワーク気味であった。金子はFRよりのtoを外側にTすることを修得した、加藤右足首負傷にK不調。ReはH,B共、サイドが非常に悪く特にR線は強くならなかった、又Hのtoが良くない得点の際に中央に集って聲を掛ける練習をしてみる。リーダー花澤。Re陣はガタガタのままシーズンを迎えねばならなかったがまもなくBRに石黒を加えてやっと型が整ったのであった。尚、此の合宿で、OB西村の注意が良く守られて時間の面が非常に規律正しかったことは氣持が良かった。

内藤

FとSがこの合宿の中心であったため時にFの疲労は激しかった。金子は就床の時間となりもぐったら最後翌朝迄白河夜舟だし、永盛はFRからtoのT、金子とのコンビ練習等々一日中何かしていたため相当オーバーワーク気味で寝言にまで「トスをもう少し流してくれ」とか「低いよ」とか床に入ってもバレーボールをしていた。内藤は飯もうまくなさそうで、ゲソツとやせてしまい、夜は歯ぎしりをする始末であった。Re陣は一日球を拾っていたので退屈の様であったが午前中Sの時はこれこそはりきり所とばかりに打ったため腰が痛いと言う有様であった。

宇佐見

27.3.30	練習試合	船1 (15-21) ² 高 (21-12) 11-21	船高	船0 (18-21) ² 高 (13-21)	船高		
4.6	練習試合	於千葉	船2 (21-8) ⁰ 高 (21-16)	於千葉	船3 (21-6) ⁰ 高 (21-11) 21-9	船2 (21-9) ⁰ 高 (23-21)	於千葉
4.22	練習試合	於日本建鉄	船2 (21-10) ¹ 高 (15-21) 21-13	日本建鉄			

4.29	練習試合	於 津一高 船 2 (21~16) ¹ 千葉高 高 (21~23) 21~11)	5-1.	練習試合	於 船高 船 2 (21~18) ⁰ 口府高 高 (21~7)
5.5	練習試合	於 東葛高 船 2 (21~13) ¹ 市川高 高 (11~21) 21~15)		船 0 (24~26) ² 口府高 高 (22~24)	船 2 (21~12) ⁰ 東葛高 高 (21~7)
5.11	練習試合	於 都立三高 船 1 (21~9) ² 都三高 高 (12~21) 20~22)		船 0 (18~21) ² 都三高 高 (13~21)	
5.18	練習試合	船 2 (21~15) ¹ 船高 高 (17~21) 21~14)			
6.7	第5回 全日本高校選抜 関東高校予選 (優勝)	於 四街道 { 千葉県管ハルホーランド (8面) が四街道に新設 され本大会より6月の第5回関東ハルホーランド男子大会新 設の四街道エートにて開催される。			
		船 2 (21~14) ⁰ 佐倉高 高 (21~12)		船 2 (21~5) ⁰ 佐原高 高 (21~15) 決勝。	船 2 (21~15) ⁰ 千葉高 高 (22~20)
		船 2 (21~5) ⁰ 本郷高 高 (21~7)		船 2 (18~21) ¹ 安房高 高 (21~19) 21~11)	1点目上り身味でAM 99<18~1654と343.
					2点目入ると2~8と11~14と14~12と343。以後辛くは進め切った。この セット安房HLのKがバックスが金子永盛のTが奮闘した。3点目安房は必 く船高は金子本郷と113113のTと張り合せて圧勝する。安房HLの 最大限のオープンからTOE離れて叩くには少しストップで343 R側へ抜 かして117。安房HLは、金子17、永盛13。本大会は対しては「7」が 威力を發揮し、且つ足元良く充分にPAの3点を叩き入れた。6か「7」 は「7」は FCとHL, HC間は 2、4、3と117。
6.14	第5回関東高校 選抜	於 四街道エート 船 1 (14~21) ² 鶴巻高 高 (21~17) 11~21)			1点目FLの逆攻に244, 4~10と は344終了。

セットHLKで攻められFCが、金子永盛のサーブで15〜17とリードアックシ
が返す逃げ場。3アウト入り日降急ぐ、アックシも加わって10〜18と
別終る。

	FR 6	FC 4	FL 2	HR 2	HL 1	HL 5	BR 2	BC 2	BL 2
	内藤	永盛	金子	湯浅	花沢	加藤	石原	牛佐良	吉岡
得	0	11	10	0	0	0	0	0	0
S	0	5	2	0	0	0	0	0	0
失 4	4	4	4	5	5	3	2	1	2
失 3	1	0	0	4	4	0	0	1	2

ハローV誌 27.8月号 (略) 春刊 運命の勝負を誇りに東京の都立三高、千葉
代表の縮高がス。3回戦で海入Fのみ又々の都立の水準を示唆する。

2.5
6
奥東総合男子

於中野高
縮高 不戦勝 日佐大 縮高 0 (15~21) 2 専修大
縮高 0 (12~21)

2.12
練習試合

於東京大学
縮高 0 (13~21) 2 東大
縮高 0 (19~21) 東大

【第7回合宿】

27年7月18日〜22日 試食室を宿舍とす。指導田中先生OB宮原参加
10名、参加費500円、米2升5合、参加費計5,000円他に積立より855
円。炊事第5回に同じ

(起床6:00、トレーニング6:30〜7:30、朝食8:00、練習9:30〜11:40、3食00〜6:40、夕食反省会7:00、就床10:00) 同日終
此の合宿は全国大会に備え行われた。従来オープンAIなく、単調なF攻の所
みであったので田中先生の指導によりFC永盛にHLより打たず。即ち
1st, 2nd共SReの際に永盛をHLの外に下げ、FR内藤にpaし、ここから
らFL金子の早Tと永盛のKに使い分けることとする。FC永盛は
永盛がFCに居る時にもHRにpaして速いtoでFC, FLを使うことを主に
やる。又此の際FCがFLの後へ廻ってTすることも練習してみたが実
戦的でなく、中止した。FC永盛は全員好調であった。入率も0.6に上がる。

この合宿をした時の本校生徒会は会費滞納者が多く、各クラブに予算
はあっても現金が廻らず、我がバレー部も御他聞にもれず資金難とな
る。その為花澤大いに本合宿の財政面をひきしめんとよく実行した
時には彼と一部の者とは副植物を分け合い節約することもあったが彼
は皆に心配をかけてはと人に黙して心を使う。然し、日々の主食が不

足しがちで副食も毎食、汁と佃煮、澤わん程度なので不平も出る。その時の時救いの神あり、其は金子がトマト等野菜類を大量寄付したことでありある。此れで一服、一同ガラス箱から池に放たれた金魚の如く活気づく。食物の何とかとはこの事なりと思う。此の合宿については、後々迄もあの時は閉口したと異口同音に稱え、その話は笑い草となつて今でも語られて居る。とんだ合宿の裏話ではある。今後とも食糧だけは充分にしたいものです。

2.3/ 5日間の合宿と、1週間の練習を終えて藤津に向う。旅館は江ノ島前。7.31.抽せんは花沢OB金子が来る。3時より5時30分まで湘南高作館を借りて練習、調子がでる。金本組と併にユエホム従来のF1選手も来て船橋高校と横に並べた。

2.1 第5回全日本高校選手権

於 藤津市営ユート
船橋 (20~22) 三条 (新橋)
高 (21~9) 高
21~9

上り時でミス99.3~10, 8~14とある
後半T決り20~19と3つと敗れる。
セット目三条Fに焦りが見られキャッチボール
が着実に得られる。セット目花沢のサー
ブで11~0とヒレ以後サーブ強く
奪取する。総3条FLFRのT
は5Fと"バ"とかがでるがた。

船橋 (8~21) 大館 (秋田)
高 (13~21) 高

立ち上り金子AM30の試合の点に
動揺して金子Tに衰えが見られH
を置いとらぬ。一対秋田FLの身化
るTにストップを2回あてり敗る。
セット目に入ると金子は抜き月藤の
T決り船橋永盛とHLにエリ30を
中止はか遠く、ハス短かく花沢
の7セットが自己ベストを終る。

○第5回全日本高校評
27年10月及び、三条のF攻に対して船橋はFL永盛の掛からのオープン攻に固くなれぬ味
で三条STにかゝり三条FL野俣の攻撃で11~14とリードされたが船橋よく反撃して得点を繰
り俄然熱戦となつた。後半船橋はオープンからF攻にきりかえ三条FL野俣船橋金子の応
酬戦16~16から1点1点の取り合いになつた20~21の時船橋のFLで敗れた。このノセ
ットを境として、セット三条元氣なく船橋は自己のペースで楽勝した。
①ノセット大館は 丸谷の攻撃で攻める一方日もよく船橋はFL永盛FL金子のFで攻撃し
たが秋田の好フオローであつさり先取された2セット船橋は永盛をFに入れて対戦した
大館FL丸谷の変化ある攻撃を阻止し得ず11と前半は追いつき乍らも後半一氣に押しき
られた。

参加者 金子武, 山内原
監督 田中先生, OB 宮原, 金子, 花沢OB 山内, 長兵。
尚、永盛、花沢は身單の第1次候補35名に選ばれた。2日目観戦
レタ刻、帰宅す。

9.	9月から翌年と目標練習を始め、昨年度と違、7人減少する前途多難である。
10.25	新人戦
	高 (2~7) 〇 〇 高 (2~14) 〇 〇 幹 高
	FR 内藤 (2) HR 湯浅 (1) BR 小笠原 (1)
	FC 中村 HC 加藤 (2) BC 金子 (2)
	FL 金子 HL 坂野 BL 舟村 (2)
11.8	練習試合
	新 1 (12 - 21) 3 年 1 (11 - 21) 生 1 (21 - 18) 11 - 21 3年生

27年度高校男子

打順	位置	学年	氏名	背	身長	備考
1	HC	3	荻澤 侑夫	18	43	6人の選手を送り出し攻守共 非常に弱体仕 かと考えられ、レシーブ面では BR に
2	FL	3	金子 明	18	48	石黒と通え、アタック面では 量利質の考え で、永監、金子のコンビを絶対的なる 自のレ
3	BR	3	石黒 弘	11	32	クラブに於此を補う 不慮で、又、不
4	FC	3	永監 昌敏	18	48	リに 全日本高校柔道大会で 優勝、杯
5	BC	3	岸根 武雄	17	41	を獲得した。 翌々練習中の練習
6	HL	2	加藤 潔	18	48	に不参加者多く、その当分の帰結を以て
7	BL	3	吉岡 克治	14	38	はあったが、団体予選には、又も昔杯を
8	FR	2	内藤 新一	18	43	喫土相は、あるが、また、高校の参加
9	BL	1	小笠原 敦弘	6	16	を認め、という不可解なる 総合選手権
10	HR	1	中村 博雄	10	23	実力の差、に果、総合には 出場できな
11	BR	1	湯浅 直治	11	24	は、
12	HR	1	金子 武	2	6	は、
13	BL	1	金子 武	2	6	は、
			合計			

[昭和27年度]

収入の部 37,000円 (生徒会費 37,000円、繰越 0円) 支出の部 33,010円 (ボール費 33,010円、備品費 0円) 差引残高 3,990円 (注) ボール単価 約1,700円 (運動部費総額 330,250円)

(27年度全国大会参加生徒会補助費)

収入の部 17,000円 (旅費 13,600円、宿泊費 3,400円) 支出の部 17,100円 (旅費 13,600円、宿泊費 3,500円) 差引残高 100円

女子

27. 4.	練習試合	船高ス〜0 船橋半園
5.18	練習試合	於船高 船0 (15~21) ^ス 船高 (16~21) ² 船高 (17~21) ² 船高

5.25	25回 県高校選手権 陸上競技予選	重平前村 未経験者2名を入れた。 於四街道コート
	Best 4	船ス (21~11) ⁰ 船高 (21~7) ⁰ 船高 (21~11) ⁰ 船高 (21~17) ⁰ 船高 (21~16) ⁰ 船高 (21~19) ⁰

準優勝。
船1 (21~19)^ス 船高 (13~21)^ス 船高 (14~21)^ス
2コート5へ2か5FCのシグ"V/Tとサーブ"に
攻め5~10と出し、切り返す"
3コート目は3:11 離れ、7~15、11~19と
その子、攻めた。
フルの安定度の差で3コートFLTが攻め5~10と
た。3回戦区優勝の割に疲労は居り特に動悸等は参考者E。試合間の
体力回復に注意した。小川、周柳1年生のサーブ良く賞された。国原選手の出場
権を得たが、本年は予選が3回制となり此に差支える為、国原大会出場は出来な
かった。

	RR (3)	FC (3)	FL (1)	HR	HC (2)	HL (2)	BR	Be (1)	BL (2)
	6	4	7	8	3	5	9	2	1
	中台	伊藤	小川	富永	矢吹	浅井	豊田	周柳	中村
得	8	22	17	1	0	14	0	0	0
6	3	3	9	3	3	1	1	9	0
矢-124	10	13	11	2	2	13	3	0	3
矢3.	2	3	3	7	10	18	10	4	9

- 【女子第1回合宿】
- 昭和27年8月8日〜12日 指導田中先生OB西村、参加7名
 宿舎被服教室、炊事輪番 参加費1人400円、(米2升、酒の盛り合わせ等)
 (起床6:00、トレーニング6:20〜6:50、朝食7:00、練習8:30
 5〜11:30、昼食12:40、練習3:50〜6:50、夕食反省会8:00、
 就床10:00)
- 1.部員が少ない上に急に浅井、豊田が病氣になり、全員揃って出来る
 筈であった合宿練習は一斉に揃わなかったことが部員一同残念
 だった。
 - 2.第1日目の朝食前のトレーニングがみんな一番苦しそうであったが
 だんだん慣れて来るに従って楽しい練習になって行った。
 - 3.人数が少なかったため、練習が終わってから炊事をやるので遅れるこ
 ともあり、苦勞であったが、みんな揃って頂く食事の時間が一番想出
 深かった。
 - 4.基礎の強化を目的とし、午前中は全部paとSに費し、午後を個人Re
 とした。11日は前夜の雨の為コート整備に時間をとられたがその代
 わり7時過ぎ迄練習した。

8.26	国体予選	於四街道 参加35校
		船又 (21~28) 長瀬 (23~25) 高 (21~14)
		船1 (16~21) 又佐倉 (21~18) 高 (15~21)
		3E目伊藤が負有表 <運場1FのFC 中台FR全盛 HR舟出
		1Fが中台のトス低く浅井のKに力が入らぬ上1F側の攻撃が乏しく、 ストップが1例に集中1Fは得点入り4点が取れた。
		FR(FC) 中台 HR(FR)今貞 BR 豊田 FC 伊藤 HC 矢吹 BC 北山 FL(HR) 舟田 HL 浅井 BL 中村 1F藤

昭和27年度 高校女子

BC, FLの選部の他は、
は、X>A-の移動の為に
上1F、入3の新入を以て
有望な年として迎えは1Fが
男子に似て夏休みの練習
がうすく中台、舟田、人取
は揃わぬに国体予選1Fは
惨敗を喫1F。
試合数が少く面白くない
年であるが、唯春日
大会の活躍は26年の
果敢大会以来で、本当1F
身持良くプレーをしては
良かった。

打順	位置	氏名	試合数(セブ)		
1.2	BL	中村 澄子	6(13)	入	
2	BO	周郷 一江	4(9)	/	?
2.13	BO	矢吹 初美	6(13)	入	
4	FC	伊藤 節子	6(13)	3	
2.3.5	HL	浅井 登世子	6(13)	2	
6.7	FR	中台 光	6(13)	3	
7	FL	小川 光子	4(9)	/	?
6.8	HR	富永 勝子	6(13)		?
5.9	BU ER	豊田 とさ	6(13)	入	2P/3
8	FL	加藤 美代子	2(4)	/	
9	BR	黒澤 八重子	3(4)		?
		合計	6(13)		

中村

2.13 全日本総合予選

於 四街道コート 一般上位3位まで、兼業団上位4位まで

2位

高校の参加は認めない協会対

決勝

船高 2 (21~13) ⁰ 野田 富田	船高 2 (21~18) ⁰ 日本 豊鉄	船高 1 (21~15) ² 橋本	船高 1 (20~22) ² 兼業 兼業
------------------------------------	------------------------------------	---------------------------------	------------------------------------

○全日本総合予選評

27年7月14日千葉新聞(晴)実業団優勝の日本建鉄が船高夕に軽くひねられ敗退結局予想通り船高夕と千葉大の対戦となった。千葉大はノセット船高夕の速攻に精彩を欠いて居たがノセットから意気をもり返しセットノールにもちこみノセット接戦乍らも逃げ切った

1位ト申分互く速攻に抑える。2位ト目 19~16、20~17 二対一(一)ノバクタン
 ノストロフに速攻と思われカネットにPPエス。再び金(一)トMに。3-1ス。
 千葉大の速攻で敗れた。3位ト 18~18 でFC、HRの獲物の見送りが得意
 再ノリトを許す。サブも入らず敗れる。相対HRは速攻、金(一)にエス、FLFR
 のクロスに止めるのがたが痛かつ。一ノ金(一)に速攻の山費の外側トは知準的
 であつた。日陣 健闘す。金(明)夕間、兼業、小並原負傷欠場。

27.9

第5回県民体育大会 於 四街道
 県民大会土曜日の点、兼業が予定ど、日本建鉄との合併出場を決定、船高夕4名
 日本建鉄5名の合併トム。高校の部を別に1位のトム減少レ。

船高 2 (21~9) ⁰ 橋本	船高 2 (21~10) ⁰ 野田 四市	船高 2 (18~21) ¹ 地理 調音所	船高 2 (21~16) ¹ 千葉 市	船高 2 (21~13) ¹ 千葉 市
--------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------

27.9

第7回国体予選一般の部 於 四街道 (2位) 準決勝

船高 不戦勝 3位決定戦	川崎 翠珠	船高 2 (21~4) ⁰ 官谷	船高 2 (21~13) ⁰ 谷	船高 0 (14~21) ² 船高 1 (19~21) ² 兼業 兼業
-----------------	-------	--------------------------------	--------------------------------	---

船高 2 (21~14) ⁰ 長狭	船高 2 (21~19) ⁰ 長狭	船高 2 (19~21) ¹ 兼業 兼業	船高 2 (21~15) ¹ 兼業 兼業	船高 2 (21~12) ¹ 兼業 兼業
---------------------------------	---------------------------------	------------------------------------	------------------------------------	------------------------------------

27.9.14

第7回国体 2次予選 於 大宮公園 埼玉千葉上位2チーム参加

船高 0 (9~21) ² 船高 1 (18~21) ² 大宮 工柳
--

27.10.5

練習 4時前 9名

練習後、ハリー部のノ尺とよめおと11ノ新レかひて、全員で可決
 年報作成作業ト入る 翌28年8月31日刊号年報発行とある。

10.19

練習 2時前 7名

近頃山土入ノ一ノの処理が急ぐたので、ネット可以可決ト入ルテ速攻の
 練習。

11.2

第5回県民体育大会

於 四街道 高校トムを加えるたが、兼業とはいれ難く、トム減少
 少ト減るレ。

船高 2 (21~6) ⁰ 船高 2 (21~12) ⁰ 兼業 兼業	船高 2 (21~12) ⁰ 船高 2 (21~14) ⁰ 兼業 兼業
--	---

優勝

船高 (17~21) ス 千 初めから点差を迫りつめては勝ち17勝。
 高 (15~21) 大 2セト目差に若手のリードを破り4勝
 13~13より 13~17と制覇してしまふ。サーブに入らぬキレローブハスも属する
 苦戦1区。千入FLは1区から止り杯に届かぬがPRI=クロス扱ひ。未達は船高
 運動会役員としての責任をこたへて帰る。

昭和26.27年度 クラブ

27年基準

打順	位置	氏名	試合数(セト)	OB名簿
24	FO HL	池田 清	12(25) OB	24/3
25	PRO FL	金子 一雄	12(25) OB	26/3
3	BO	宇佐見 武男	3(6) 現役 3	28/3
43	PRO HL	近藤 弘男	12(26) OB	24/3
5	BL	小笠原 博司	8(19) OB	26/3
62	BL HC	玉澤 俊夫	9(18) OB	26/3
63	HR	西村 英男	8(17) OB	26/3
7	HR	小暮 健	2(4) OB	27/3
74	FO	永盛 昌敏	6(12) 現役 3	28/3
7	HR	伊藤 明	1(2) OB	27/3
76	HC	海老原 金太郎	9(19) OB	24/3
81	BR	宮原 武夫	13(28) OB	26/3
89	FL	高橋 鋪	7(14)	?
85	BL BO	加藤 忠太	8(19) OB	24/3
96	FR	山賀 繁夫	7(14) OB	27/3
8	FL	金子 明	2(3) 現役 3	28/3
7	BL	西尾 友克	1(3)	?
合 計			26年10(22) 27年3(6)	

[26,27年度クラブ]

収入の部 23,790円 (会費 20,300円、その他 3,490円)
 支出の部 20,340円 (ボール代 7,400円、交通通信費 2,223円、入部
 親睦費 3,218円、登録費、参加費 2,380円、その他
 5,119円)
 差引残高 3,450円

船橋市・市協会の動き

国内（社会一般）の動き

昭和27年（1952）

- 4. 市制15周年記念式典
国鉄船橋駅新築落成
- 11. 市営野球場（現市船高）開設
県船高（男）インターハイハ

- 4. 日航木星号、三原山に墜落
- 5. 血のメーデー事件
白井義雄、世界フライ級チャンピオンとなる
- 7~8 第15回ヘルシンキ五輪
レスリング石井昭八優勝

NEWS	MOVIE, SONG	BOOK	LIFE	SPORTS
	ラジオ NHK 新語園物語 笛吹童子 紅い巻 「君の名は」	song 元祖ワルツ アワゼワルツ リゾの逢合	本祭り27本 ニユライの鏡 赤いワルツの鉄列車	東京骨山に初のホリン場
	映画 国と君に叫ぶ 真昼の決闘 誰が故に鐘が鳴る	LIFE ログマガザ発見 マボロシの怪発見		

部の厂史をまとめたという語が居合せた者全員に可及しい。26年度の金子一徳自伝が
 ボイ号年報 千葉県船橋高等学校バレーボール部 船橋高校クラブが昭和28年8月31日
 発行された。ボイ号は25年～27年と詳細な記録及び記事があるが今回各年度毎に転写したの
 である。以後年報は昭和33年度まで年報が発行され以後発行されていない。昭和33年度まで
 は今回の記念誌作成上記事の転写といたし、詳細な記事については各年報を御覧いただきたい。
 今回記念誌作成上ボイ号の年度毎記事転写の他は各記事が載っている。目次の

目次

1. みんなでバレーを	3、5、6について以下に各年度に 転写したので、目次の
2. バレーに情熱をこめて	1、2、4、6について、以下に転写
3. 運営費の内容	
4. マークとバッジ	
5. 部報	
6. コートの変遷	
7. 合宿練習	
8. 活動状況	
9. 輝ける発足(22年度中学男子)	
10. 長蛇を逸す(23年度高校男子)	
11. どん底(24年度 ")	
12. 新プレーの導入(25年度 ")	
13. 前衛攻撃のみ(26年度 ")	
14. 全国大会へ(27年度 ")	
15. 唯二試合(25年度高校女子)	
16. 初出場に四位(26年度 ")	
17. 僅か九試合(27年度 ")	
18. 喜びの総合制覇(23年度クラブ)	
19. 山梨に敗る(24年度 ")	
20. 県民大会でバックルを(25年度 ")	
21. クラブとして組織化(26年度 ")	
22. 二位ばかり(27年度 ")	
23. 何回試合したか	
24. 上位に出たのは	
25. 数字は語る	
26. 第三者の眼は	
27. 校内対抗	
28. 編集後記	

「みんなでバレーを」

部長 田中宗男

日本スポーツ史を繙いて現代程スポーツが暇さえあれば盛んに行われ、又語られる時代はない。人々によってスポーツの種類こそ、又其への意欲こそ違え、人々は絶えず明るい健康なレクリエーション、スポーツを私達の生活の中に混流し、より明るい家庭、社会を造りあげようと欲して居ることも否めない事実である。実践行動を必要とするスポーツ、変化多きボールゲームの中でバレーボール等その最も適したものであることは衆の等しく認める処であろう。

スポーツ面から眺めた学校教育も、小学校に於ては主に遊戯、中学校では主として各面の基礎鍛練(演習)乃至は興味、高校では一段高度の技術又は各スポーツの廣き理解を目標とし、大学に入って初めて各層に於ける各技術、鍛練を通して而も理論的に考え、其等を知ることになるのである。

誰でも自分の欲する或物を自分で獲得した時の喜びは同じであるが、スポーツでも、その技術がより進めば其への興味はより増して来る。バレーボールのパスを初めて行う人は大概、指を捻挫したり、下腕筋の疲労を感ずるが、そういう事は續けていると自然に分かって来る。スポーツは実践を伴って初めてその価値があると思う。私は中学校乃至は高等学校等でバレーボールを愛好する人々に、より一層の後援をしたい。

船橋高等学校バレーボール部もその傳統は非常に浅いが県下に於ける戦績は毎年優秀な成績を修めて居る。さきに三、四回の先輩しか持たぬクラブだが、親愛なる彼等の思いつきにより、当部のあゆみと、その度に於ける戦績の反省とでもというか記録ををここにまとめ、一昨年度卒業の金子君の努力によって編集の運びに至ったのであるが、後輩或は各中学校等に於ては多くの参考資料になると思う。

私は茲に親愛なる当部の諸先輩に敬意を表すると共に、此からの人々がより多くバレーボールを愛好する事を衷心より望むものである。

「バレーに情熱をこめて」

会長 池田清

バレーへの道は入り易く抜け難い道である。誰が誘うという事もなく円形になってボールで遊ぶ。如何にも楽しそうにみえ、つい仲間に入る。この中から上手にやってみせてやろうという人が何人か出て来る。或程度上手になると俄然興味が湧き、よしバレーをやろうという意欲となりやらずには居られない状態になる。其が技術の上達への興味となりチームを編成し或はチームに入って更に向上する試合をやる。次に征服慾が湧き上り、勝利の追求となって敗れても今度こそと意氣こむ。

其為に練習が必要となって来るし練習後の軽度の疲労或は適当に汗を流した時のあの爽快な胸のすく様な満足感、此等が積り積って青年のスポーツに対する意欲を昂進させ、スポーツへの執着をももたらすのであろう。此処で青年の熱と意氣とをうちこんでやろうという対象が出来る。

シーズンが廻って来るとどうしてもやらずには居られない衝動に駆られる。こんな時に高校時代夢中で練習した事等を思い出すと今すぐにもやり出したくなったりする。

此の様な欲求を抱く友輩が集ってクラブを組織しようということになり実現したのが船高クラブである。

船高クラブ員は高校時代より苦樂を共にして来た友であり互に親しみを感じ合い離れ難き間柄であり而もバレーが好きな同志で集って居る。其故各人が自己を愛すると同様にクラブを愛し、己を捨て難いと共にクラブをも捨てられない。

此の事実こそ我が船高クラブの誇りでもあり強味でもあると言えよう。

然しクラブチーム共通の難點であり弱點である練習量の不足は如何とも仕様がなない。

此の打開策として個人的練習の量の増加或はバレー以外の趣味を通じての会員の結束を図ってはいるが充分いい難いのは残念である。一方、県のレベル向上の為、会員は以前より近在の中学校、実業団のバレー熱を刺激し普及に努めて来た。

今後も大いに活躍したいと思つて居るがここで今迄に我々のなして来た事柄をまとめて顧みてみるのも無駄ではないと思う。

終りにバレー愛好者皆様の健康を祝福すると共に諸チームの発展をお祈りして筆をおきます。

昭和28年4月20日

「マークとバッジ」

最初のマークは紺の「船中」で22年7月、全員に配布された。23年4月学制改革による高校昇格に伴い船橋高校の頭文字をとり紺でFHSとした。然し県下のチーム数も増えるに及んで秋の大会を前に一ヶ月並みでない元気のよいのをとということで9月にはローマ字筆記体でフナコとし、Oの尻尾をFの下迄打ち返し、此を黒とした。その意気現れてか初の総合選手権には見事優勝の榮を勝ち得たが、特にF陣の大きい連中は胸を張るたびに字の継ぎ目が切れてしまうので翌24年からは極めて簡単に横7縦8cmの紺のFを胸の中央につけることとした。無精者には受けが良かったと見えて、27年全日本高校に出場することになりFだけではまずいといふので黒で船橋高校と横に並べたものを作るまで3年間続いた。

クラブの方は23年秋、現役で不用となったFHSのFを活用したのが初めて、26年春組織的に発足するに当って緑地に黒のFの既製品を池田が見つけて来て、左胸につけることとした。

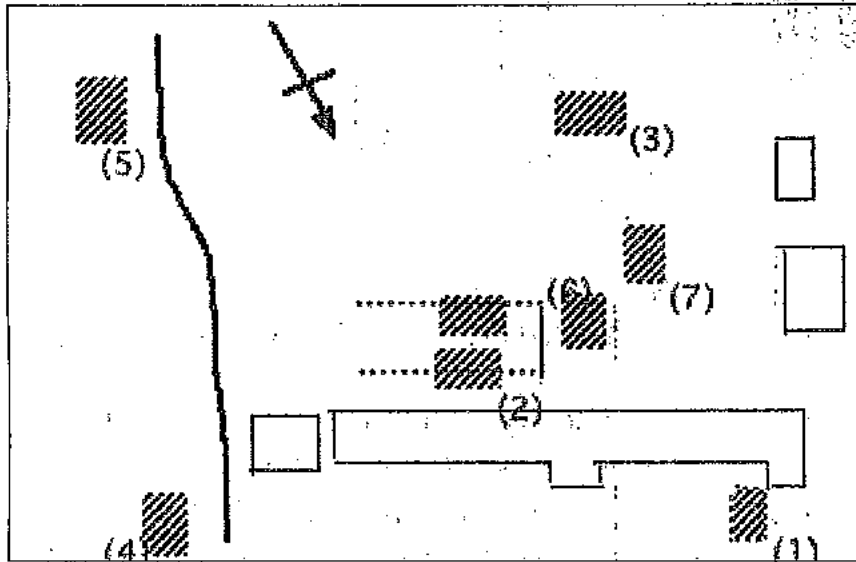
女子は創立以来黒のFで通して居る。

一方、船高バレー部としてどん底であった24年も終りに近づく頃、先輩に負けじどの意気上り、又部としての存在意識も高まり、バッジを作ろうという話がもち上り、絵画部にも属して居た小倉、佐藤に数種の原案を画いてもらい、部員合議の結果現在のものに決定した。

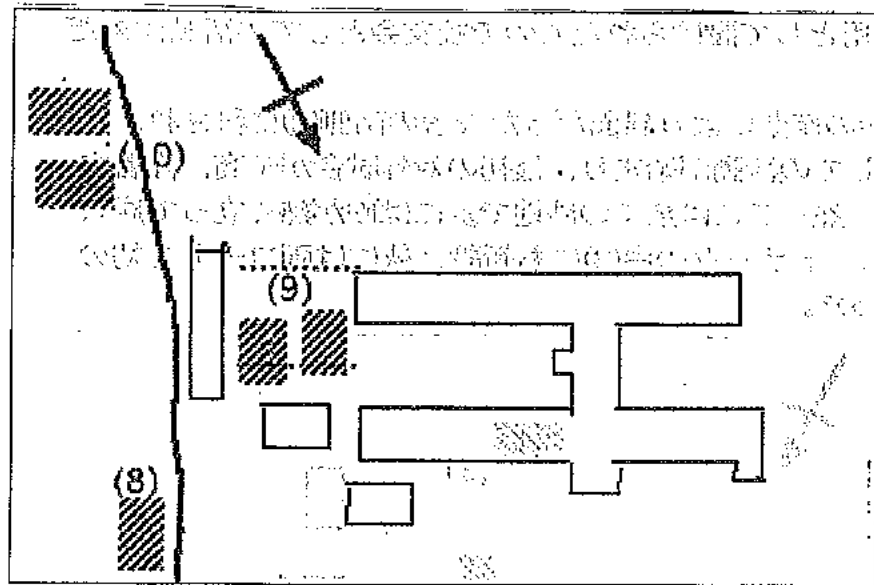
当時既に卒業して居た先輩にも配り以後新入部員に原価で配付している。バッジは横2.4cm縦1.2cmで、#の左上部にボールを、上部に勝利の月桂冠を配し、ボール上斜めのFUNAKOは金色に、#上のVOLLEYは銀色に、共に浮き出させたものである。

船中に初めてバレーコートが作られたのは22年春であったがこれは前庭(1)に体育授業用として設けられたもので校友会としての活動は未だ始って居ない。

同年7月全校生徒の作業により斜面だった校舎の南側(2)に移され、ここにバレー部としての活動が始まり、最初の対外試合が千商、佐倉中等と行なわれた。然しここは全くの砂地で夏には砂が熱く立って居れぬ程なので8月末、トラックの中(3)にも新設、秋には両コートで初の校内対抗を行なった。



その後23年末迄の(3)に於ける月の光の下での練習等は一生の思い出となろう。だがこの礫の多さにはB連も音をあげてしまったので24年早々(4)に移し、ここは内務省の土地であった為間もなく(5)に移った、コートの周囲には米軍払下のブルト等が有り、その下にもぐつてはボールを拾ったものである。ここは南北に通ずる掘割の中で夏は劇的な南風が強く練習が思う様に出来ないので10月には現在南校舎のある職員室前(6)に既に出来上っていた点線で示す校舎にぐっつけて造った。この時のリヤカーでの赤土運びは大事業であった。ここは校舎に近いので空時間、昼休みにはいつもS乱打等を行って居た。一日中#を張って居た為一般への普及度が大きかったことも認められる。隣りには初めて女子用も併設された。初の合宿はここで行われ福地先生の個人バック、新任木村先生の四角パス、ダイビング等苦しい思い出が多い。25年6月南校舎の着工と共に一時(7)に移り、すぐ(8)でテニスコートを借用することになった、女子は男子が(8)に居る頃(9)に居り、シーズンオフと共に男子も(9)に移って26年度を過した。



27年春点線の位置に家庭科教室が建てられることになったので26年末より(10)に作業を開始2月迄に困難な地ならしを終え2面を完成、南北の強風をものともせず練習に励んで居る。

6年間に10回も変えはならず、而も風の強い日や雨の後などは中学校を借りたり、そこらの空地、校舎のかげで練習したりせねばならなかった過去の状態は未だ未だ続くであろう。数年前、砂や礫のコートを大事に掃除して使って居り、福地先生の着任第一声が「こんなコートでよく優勝したね」だったことを考えると(10)コートは立派なものというべきであるが、附近の水溜、建設省の下水等、問題は絶えない。

宮原

6名の卒業生を送り、6名と小人数 今月新入部員を迎え、
直ちにレギュラーと出れば各選手が活躍する。春の合宿は必ず。

4.25	練習試合	対 口府高
		船又 (15~21) 口府高 船又 (21~16) 千代大附
		高 (21~13) 高 高 (18~21) 高
		(21~15) 高 (23~21) 高

4.26	OBと合同練習	船又 (21~15) 船又 (13~21) 口府高
		高 (10~21) 高 (23~21) 高
		(21~18) 高 (22~20) 高
		(10~21) 高 高
		(20~22) 高 高

5.16	練習試合	対 千葉高
		船又 (21~23) 千葉高
		高 (12~21) 高

6.7	16回全日本高校 果樹	対 四街道
		船又 (21~14) 船又 (18~21) 奥墨高
		高 (21~7) 高 (19~21) 高
<p>前夜450円でコート、バレーボールの上、小雨の中、決行された。この試合は いいところがある。1セット終了の大切な時にFR内藤、滑り右脚でつかまわす。 17-14。以後内藤が久々に来る。2セット目内藤5の時に又脚で ついに充分攻撃できる。B陣のハズレ5対1と決ってサーブの勢が勝つ。 技術的にはFCとFLHLの呼吸が合う。この日は使ったのはFR内藤 が17に獲る結果となる。3年生は奥面着行で打つのがたに果実の結果に あつた。</p>		

打順	位置	氏名	学年	打順	位置	氏名	学年	打順	位置	氏名	学年
4	FR	内藤	3	2	HR	湯野	2	7	BR	丹羽	3
5	FC	中村	2	3	HC	加藤	3			蜂谷	1
9	FL	大内	2	6	HL	小川	1	8	BC	小笠原	2
								1	BL	額額	1

この敗戦はリポジショ変更 FR内藤 FC中村の交代、BC小笠原 HC加藤の交代。

7.19	18回合宿	参加費500円 米4斤、卵4斤、指導田中君、OB永盛、幸規、 参加9名 宿舎寮料 試合室 炊事は好部員に依頼。 本合宿は団体で備えてABCのサーブの強化に力を注いで行う はすである。食も大変充実。コートと使ったのは木が3日、後は調整は7 棒高跳のレベルにネットを張っての練習を予定し実施して行った。
------	-------	---

7.25 合宿最終日
 船0 21~19 | 船高 2nd Y-7の21にて、乱打あり
 夜はOB 20名が加わって懇談する。

8 練習
 合宿の後は、8月1~10日、20~30日と練習期間と1Fが
 最近夏休みの練習が少なかったため、今年も合宿後はその例に倣
 かりて有休で人数が少い上に、病人怪我人も出るような環境に練習をエ
 集りに悪く、OBの方が多い練習日(クラブ練習日ではない)があった事は
 取りかねてある。

8.9 OBと合宿練習
 船0 (18~21) 船高 (16~21) 船1 (21~16) 船高 (14~21) 船高 (17~21)

8.30 練習
 OB 10名 集まりを誤役の中か4名は集まりず。

9.15 第10回国体果て送
 於 四街道 30F-4.

船入 (21~12) 船高 (21~9) 船2 (21~14) 船高 (21~18) 船2 (21~18) 船高 (21~14)

準決勝 決勝

船2 (21~14) 船高 (16~21) 船1 (21~17) 船高 (16~21) 船高 (15~21)

Rの動きは、た
 がSが入る
 ところ、Fの
 が痛い。

30日 胃や肝の中にSが入り、Sを上げ得ず敗れた。

HL小川が国体予選の前日入院しては、攻撃力を半減にしているが、その反面、

小川の命を自分かという気持ちで、緊張した結果、昨日も良く当日は尻尾に押し

返して、特に内藤のくり返すTは、痛く知らぬかの杯に敵陣をかきまわす。

Sも数回集まりはよく入って、Rの奮闘も半生以上の力を示した。

打順	位置	学年	氏名	得	6	M ₂₉ 99	M ₃ E
9	FR	2	中村	6	4	13	3
5	FC	3	内藤	57	1	28	6
7	FL	2	文内	21	3	10	4
3	HR	2	湯浅	2	8	15	14
2	HC	2	小笠原	0	2	14	15
6	HL	1	峰谷	0	3	11	6
8	BR	3	丹村	0	1	11	13
1	BC	3	北藤	0	9	8	13
4	BL	1	額額	0	7	1	5

10.25 OBと合同練習

新コートにて 校内対抗バレーボール戦以後

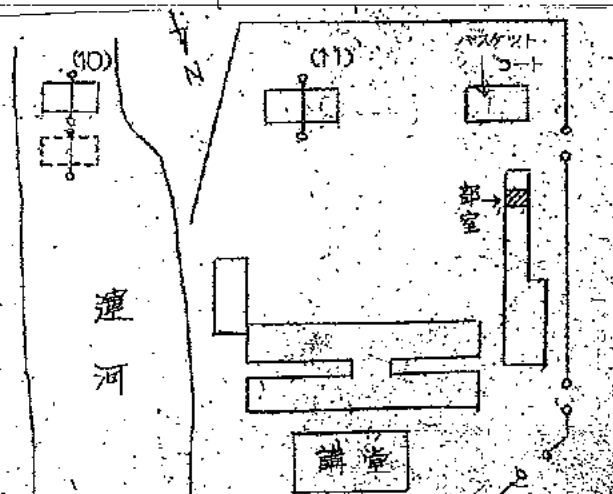
悔老球 佐藤が大部レ. 1.2年生10名(後大内退学)で
冬季練習に入る.

28年度高校男子

打順	位置	氏名	学年	試合数	試合
1.3	BC HC	加藤 潔	3	6	14
2.8	HC BC	山並原 敦弘	2	6	14
3.2	HR	湯浅 直治	2	8	14
4.1	BL	額根 武	1	6	14
5.4	FC FR	内藤 新一	3	6	14
6.7	HL BR	峰谷 三郎	1	6	18
6	HL	小川 光雄	1	1	2
7.9	FL	大内 道彦	2	6	14
8.2	BR	丹羽 修平	3	6	18
9.5	FR FC	中村 博雄	2	6	14

コート移転
(11回目の移転)

「豊河南側のコート2面は後方木留りの造り使用に不便なため、困っていた
ためにかかぬより計画して春に運動場の拡張を行われたい
ので一面は右側の位置に移す。河川は男中兼用
ボールの跡を残すにすぎずと使用に不便なため、非常に荒れ
ます。新コートは砂の多量クワリの上に粘土質の上を敷いた
のでかまどを充分固めてあり、平坦度も充分でありませぬ。
コートは差込式で上下せしめるにはなると春に近いうちに
断壊してもう一面作り出す。周囲にマツタケの若木を植えてあり
ますが風には揺られそうなりです。尚コート移転はこれ11回目です」



女子

		Fス入を逆押し更に前年団体選後に3名の選手を2名追加し攻撃は非常に弱体化をきたして着目か春に新顔5名を逆押しスタート。
4.18	練習試合	於 明德高 船0 (18-21) 又 明德高 高 (17-21) 高 初めての試合。3名。下陣が新人のため後 に少しだけ"横江"のロープかきとめる がた。
5.7	練習試合	於 昭和三十九年 体育館 船2 (20~22) 昭和三十九年 高 (21~16) 女子高 21~16 高
5.16	練習試合	於 船高 船2 (21~15) 昭和三十九年 高 (20~22) 女子高 21~9 高 船1 (21~19) 十 高 (16~21) 兼 高 練習=高の都合で1:1で終了

3年生奥西旅行であったか、この間に練習

5.31	第6回全日本高校 卓球選 不位	於 四街道 船2 (21~18) 〇 佐原三高 高 (21~6) 高 準決勝 船2 (21~14) 鴨川一高 高 (19~21) 高 21~15 高 この以上の勝利は勝因であったかともいえる 決勝 船0 (16~21) 又 宇高三高 高 (13~21) 高 やはり優勝の友Aが有利なのが弱味である。しか し5名(21) HCHR向にT型は。HRHL ストロークはFLTMも少なかった。勝てたのは昔より頑張った事は 嬉しみに思える	船2 (13~21) 岩尾高 船2 (21~8) 高 22~20 高 船2 (21~16) 〇 東金高 高 (21~6) 高 ハレの名門 鴨川一高と戦う。一番の強敵である と想定して鴨川を3年目にして破った。精神力と今 20
------	-----------------------	--	---

順	位置	学年	氏名	得	S	M 24 SS	M 3 S
5	FR	2	加藤	2	2	8	1
3	FC	2	周部	11	13	6	1
8	FL	2	小川	20	2	15	7
4	HR	3	今関	4	4	7	9
2	HC	3	矢吹	1	11	13	9
7	HL	3	浅井	14	3	18	6
6	BR	1	石橋	0	0	6	11
9	BC	3	中村	0	5	4	7
1	BL		富永	0	4	10	7

6.20 第6回肉類高校選平校
 21 於お茶大 春の大会の結果本大会の出場権を得、猛練習を17日(の)であるが連日の辛直りから抽せんもれとあり出場できず。20日の計観戦。
 2.26 第2回合宿
 2 参加費 330円 火2.5kg 坊等 田中先生、OB 和盛、0名中位
 30 参加11名 宿舎 家庭料、調理室、炊事当番等任中司 輪番入、全員参加して昨年に良い練習ができて、殊に昨年は1年が1名まであったが今年も4名揃って参加したのは嬉しい事であり、合宿中1日目は7つの技術的効果も表わされるが、其に8は励み給って真剣に練習した17-17-7の強化という合宿の目的の一つは非常に効果があった。

8.4~30 4~10日、20~30日の前練習。
 9.6 合戦練習試合 於 佐倉二高。 参加校数 敵の総1:1の陣列と対し
 船高 2 (21-15) 0 松屋高 船高 1 (21~19) 1 成田高 船高 0 (16~21) 2 銚子高
 船高 1 (23-21) 1 佐倉三高

9.12 第8回団体県予選 於 四街道 参加 32校
 船高 1 (21~16) 2 松屋高
 船高 1 (20~22) 1 銚子高
 船高 1 (19-21) 1 松屋高
 船高 1 (21~16) 2 松屋高
 船高 1 (20~22) 1 銚子高
 船高 1 (19-21) 1 松屋高
 松屋高には 9/6 奪勝してこの初めから勝つと思て身が伸びて居たので、負けて来たら蒸り出たが、粘り身のよい、身がよい試合をしてきた。ナインの精神が一掃はなくて、とる弱い相手でも勝つ比が生まれるという事とこの試合で痛感させられた。3対1、1~8と出たが、周廻り3位入り54位奪って9~8と授回した時に全員の息が揃ったのが嬉しい。秋の団体予選は惨敗す。

10.3 第8回肉類女子選平校 於 お茶大
 船高 1 (21-5) 2 岩川高 F.C 春田 F.L 島津 H.L 田中の新メンバー
 船高 1 (12-21) 1 船高 1 (17-21) 1 船高 1 (17-21) 1 船高 1 (17-21) 1

11.4~12.10 2年3名 1年5名を練習する 新メンバー

打順	位置	氏名	学年	練習数	試合数
1.5	BL	富永 勝子		5	12
2.3	HC	矢吹 初美	3	5	13
3.2	FC	周廻 一江	2	5	13
4.7	HR	今岡 若枝	3	5	13
5.9	FR	加藤 美代子	2	5	13
5	BL	片岡 江子	2	1	1
6.8	BR	石橋 孝子	1	5	13
7.6	HL	浅井 登世子	3	5	13
8.4	FL	小川 光子	2	5	13
9.1	BC	中村 藤子	3	5	13

777

4.5	松回都市丹前 果予選 (優勝)	松回街道 船高 2 (21~19) ⁰ 日本 船高 7 (21~13) 津波 不-70>7-4	伊藤 船高 2 (21~6) ⁰ 大 船高 7 (21~10) 勢 7	船高 7 干 7 伊藤高OB
		船高 2 (17~21) ¹ 南 船高 7 (21~12) 原 船高 7 (21~17) OB		
4.18	松回都市丹前 南原果予選	松川崎 船高 1 (21~15) ² 川 船高 7 (17~21) 越 船高 7 (19~21) (橋)		
7.5	果一般選予選	松回街道 参加以干-4 船高 1 (15-21) ² 南 船高 7 (21-13) 原 船高 7 (19-4) OB		
7.28	松回果大会 船橋市予選	松日本津鉄 船高 2 (13~21) ¹ 日 船高 7 (21~13) 本 船高 7 (22~20) 津鉄	船高 2 (13~21) ¹ 日 船高 7 (21~13) 本 船高 7 (22~20) 津鉄	船高 2 (13~21) ¹ 日 船高 7 (21~13) 本 船高 7 (22~20) 津鉄
9.6	松回固体果予選 (優勝)	松回街道 参加以干-4 船高 中 大 船高 7 勢 伊藤	船高 2 (21~17) ⁰ 伊 船高 7 (21~9) 藤 伊藤	船高 2 (19~21) ¹ 松 船高 7 (21~11) 原 船高 7 (21~12) 伊藤
		船高 2 (21~15) ⁰ 地 船高 7 (21~14) 理 伊藤		
9.23	松回固体南原 果予選	松回街道 船高 1 (21-15) ² 大 船高 7 (16-21) 宮 船高 7 (19-21) 王		
11.3	松回果大会選予選 (優勝)	松回街道 参加以干-4 船高 中 長 船高 7 勢 船高 7 伊藤	船高 2 (21~11) ⁰ 正 船高 7 (21~6) 真 船高 7 南	船高 2 (21~19) ¹ 地 船高 7 (14~21) 理 船高 7 (21~15) 調 伊藤

打順	位置	年	氏名	得	S	失 M124 SS	失 M3 E
6	FR	27/3年	山賀	7	1	4	2
		27/3年	内藤	1	0	0	0
4	FC	27/3年	永盛	9	11	7	0
8	FL	27/3年	金子	22	2	7	4
		27/3年	柴山	1	1	2	0
9	HR	27/3年	宮原	0	0	1	0
3	HC	27/3年	近藤	0	2	1	3
1	HL	27/3年	池田	8	4	5	4
7	BR	27/3年	加藤	0	0	3	5
2	BC	28/3年	宇佐見	0	1	1	7
5	BL	27/3年	石黒	0	4	2	6

11.20 親睦旅行 大森へ OB70名 2級役員1計10名にて船中1泊。

12.26 忘年会 やおい寿司にて 田中先生の他、OB15、OG3 現役員3名 計22名参加。

28年度 フラフ

打順	位置	氏名	年	調教	出場
1	HL,R	池田 清	24/3	(7)	18
24.8	BC	宇佐見 武男	28/3	(7)	18
3.6	HL,R FC	近藤 弘男	24/3	(7)	18
4.3	FL HR	永盛 昌敏	27/3	(7)	18
5.27	BL,R	石黒 弘	28/3	4	8
5.2	HC	海老原 敏郎	24/3	5	18
6	FR	山賀 繁夫	27/3	(7)	18
6	FR	内藤 新一	27/3	1	1
7	BR,L	加藤 繁	27/3	3	8
7	BL	小笠原 博司	26/3	4	10
8.2	FL	金子 一雄	26/3	(7)	18
8.6	FL,R	柴山 迪雄	26/3	2	2
9.2	BR HR	宮原 武夫	26/3	(7)	18

千葉県スポーツ史 p68より

しかし、そのなかによって特に強固な結束で活躍し続けているのは、船橋高クラブである。28年強打の金子一雄、老練な近藤弘男、好トサーの永盛昌敏、現理事の山賀繁夫などを擁して、殆どの県下大会に優勝し、いままでの基盤をさらに確固たるものとした。クラブチームとしての悪条件をよく克服しての健闘は敬服の外はない。

OBの活躍。
 秋の関東大学リーグ3部で未盛(2/3年千葉大)がカーブ賞を得、同じく幸佐良(2/3年千葉大)が6位に入った。

船橋市・市協会の動き

国内(社会一般)の動き

昭和28年(1953)

- 8. 千葉郡二宮村合併 市人口10万突破
- 第1回納涼花火大会開催
- 総武病院開院

- 2. NHK、東京地区で本放送開始
- 3. 中国からの引き揚げ開始
- 8. 日本テレビ、本放送開始(民放初)

NEWS	MOVIE, SONG	BOOK	LIFE	SPORTS
	TV	song	「街の叫びの音」	
	NHK 千葉県区で テレビ放送開始		「君の名は」	
	NHK 「エスター」		「雷の降る町」	
	映画 「君の名は」		政経運動が盛ん	
	「ひかりの塔」			
	「雨月物語」		スエデンが世界大会3連	
	「地獄行」		伊東祥子 (ハゲ身)	
	「ジョン」			
			公債発行10円	
			電気洗濯機発売 28500円	

今年は国体が北海道で行われるので、全日本高校選手と国体選手とを兼ねる一本勝負の年である。今年度の練習を考えると、FR、FL

活躍と期待される者は HR 湯浅 3年、HL 小川 2年である。これに蜂谷(2年)海老球(2年)の加わって A+陣は FCの中村(2年)のトス如何に決るか FC中村、HR湯浅の2人は3年生として充分役割を担って欲しいと思う。 小笠原

3.27 春季合宿 宿舎 試合場 参加費400円 ※3年5合 指導田中先生
 約9回合宿。 0点承認、幸佐見。 FR 蜂谷不参加。

4.3 合宿中、風が強すぎて、特に午後に強風となり、コートが使用できず、講堂と庫裏部と合同で便利に結果採点の練習場等と使われる。

4.5 練習試合 於東豊高
 船1 (15-21)² 白鳥高
 高 (21-19)¹
 (18-21)¹
 船0 (17-21)² 水海道高 (奥村)
 高 (17-21)²
 船2 (21-13)⁰ 東豊高
 高 (21-17)⁰

4.24 練習試合 於白鳥高
 船1 (15-21)² 白鳥高
 高 (21-10)¹
 (19-21)¹
 船2 (21-18)⁰ 市川高
 高 (21-18)⁰

5.9 練習試合 於船橋校講堂
 船0 (28-30)² 順天大学
 高 (16-21)¹ 相手が大学とあって大いに強かったが、足は弱く、2セットは FCに初勝利した。
 石川順天体育学部 27年バレー部練習生と戦った。

船2 (11-21)¹ 市川高
 高 (21-19)¹
 (22-21)¹

6.5 全日本高校 兼 国体予選 今年度は全日本高校と国体予選を兼ねられる。 於 旧街道 2回戦 (22-20) 長生高

船2 (21-11)⁰ 東豊高
 高 (21-5)⁰
 船1 (18-21)² 長生高
 高 (18-21)²

1セットは3点入る。2セットは長生S良いので、FCに船高S入るが、7-13-7も悪く惜敗。この試合を最後に中村 FC (2年) 身引き退部。

打順	位置	学年	氏名	得点	S	M ₉₉	R _M ₉₉
9	FR	2	蜂谷	1	1	0	2
5	FC	3	中村	12	2	5	2
7	FL	2	海老球	9	1	7	1
3	HR	3	湯浅	0	2	1	2
2	HC	3	小笠原	0	2	1	6
4	HL	2	小川	23	4	8	5
8	BR	2	佐藤	0	2	2	3
1	BC	2	綴撰	0	2	2	0

7.	練習試合	於市川高.	練習試合 於口府高.
		船0 (18~21) 2 市川高	船1 (17~21) 3 口府高
		船1 (18~21)	船2 (18~21)
			船3 (21~22)
			船4 (13~21)
8.24	夏季合宿	参加費450円 米3kg 参加投復9	
2		指定田中先生. OB 半休	
8.1		FC 中村の選部 FC 蜂谷 FR 半休 (1時) FRはSE 専休.	
		8.31 合宿最終日 設0 (17~21) 2 設0 (15~21) 2 設0 (19~21) B 復 (20~22) B	
8.28	高校選手権 甲斐のロック予選	於東豊高 参加6校	
		船1 (20~22) 2 市川高	FC 蜂谷 腰痛, HL 小川 (前日不眠高 (替り))
		船2 (21~19) 市川高	の調子悪く FC の選手は皆セーブ. 又 F-7. V-7
		船3 (18~21)	及 F-11 とは云々カンエ.
9.11	新Y&A-FC 練習試合	於船高	
		船0 (18~21) 2 口府高	船2 (11~21) 1 口府高
		船1 (16~21)	船3 (24~22) 口府高
			船4 (25~23)
11.20	練習試合	於船高講堂.	
		船2 (19~21) 1 市川高	
		船3 (21~18)	
		船4 (21~14)	

27年度 Y&A

順	位置	学年	氏名	背外	順	位置	学年	氏名	背外	順	位置	学年	氏名	背外
1	BC FC		額野 武	4 (10)	5	FC	3	中村 博雄	2 (5)	2	FR FC	2	蜂谷 三郎	4 (10)
2	HC	3	睡野 敦弘	3 (8)	6	BL	2	金子 博	4 (10)	5	HR	2	橋本 佳能	1 (2)
3	HR	3	湯原 直治	3 (8)	7	FL	2	海老 米生	4 (10)	7	FR	2	能田 英世	1 (2)
4	HL	2	小川 虎夫	4 (10)	8	BL BC	2	佐藤 潔	4 (10)	9	FR	1	半川 孝男	2 (5)

女子

4.25	練習試合	卒業生は3名、前衛は全員現子が、1年次の入部が少なくスタート。 於千葉=高。
		船0 (15~21) ² 明德高 船2 (22~20) ⁰ 千葉三高 高 (14~21)
5.1	初回合宿	参加費 386円 又、2升5合 宿舎 初倉室、参加 10名 先輩、久吹、中村ほか炊事やその他の世話をしてやる。
6		主として講堂にて練習。練習に利用しての合宿ではF.A.C. 向に2日遊業があった。
5.15	練習試合	船2 (19~21) ¹ 千葉三高 5.25 練習試合 船1 (19~21) ² 千葉三高 高 (21~15) 高 (21~9) 21~19
5.29	練習試合	船2 (21~13) ⁰ 明德高 船2 (23~21) ⁰ 明德高 高 (21~14)
6.5	高校選手権準団体予選	於四街道 参加 35千-4 船1 (21~15) ² 敬愛高 高 (11~21) 13~21
7.17	練習試合	船2 (23~21) ⁰ 明德高 高 (21~9)
8.28	県大会ブロック予選	於東葛高 参加 7千-4 決勝、 船2 (21~18) ⁰ 戸高 船2 (24~22) ⁰ 野田高 船0 (14~21) ² 昭和学園 高 (21~14) 高 (21~10) 高 (18~21) 2回決勝戦 船高4戦目には2レ 船高2戦目で天身一杯。 船0 (17~21) ² 船高 点差は大差で勝つたものの4-1であった。 高 (18~21) 不備子で大会には出場ができて船高失格。
9.25	関東選手権	於西条の水文 船0 (14~21) ² 船員 高 (9~21) 20Pは簡単に破られたのが実力は同程度 J.上から見て15長相対一日の長さが分る所であった。 船高はレシーブが良くカバーが良くトスが主力 HRに付5 互いに押し合った。

29年女子メンバー

背番号	位置	背番号	姓名	背番号	位置	背番号	姓名	背番号	位置	背番号	姓名	背番号		
1	BC	3	片岡正子	4 (8)	4	HC	2	石橋孝子	4 (8)	7	FL	2	井川愛子	3 (6)
2	FR	3	加藤新子	4 (8)	5	BR	3	田中由子	4 (8)	8	FL	2	金子君子	4 (8)
3	HL	2	長井芳江	3 (6)	6	HR	2	加藤淳子	4 (8)	9	FC	2	香田芳栄	4 (8)
										2.7	HR	1	阿部桂子	2 (4)

4. 4	都市対抗卓球選	棄権
4. 11	クワ大会	男子18 女子3名出席 一般費100円全員協力行事にて決。
5. 16	一般選手権	松江街道 参加10名-4 決勝
	優勝	船2(23~21) ⁰ 船高 [?] (21~11) [?] 船2(21~13) ⁰ 船高 [?] (21~19) [?] 船2(21~19) ⁰ 船高 [?] (21~14) [?] 横

5	FR	芳平	中村	3	HR	波	堀野	7	BR	芳平	用羽
			高橋	4	HC	波	植竹(初)				加藤(凌)
6	FC	芳平	内藤	9	HL	波	小川(海)	1	BC	芳平	加藤(凌)
2	FL	芳平	直藤					8	BL	芳平	植竹(初)

4. 4	国体予選	松江街道 参加16名-4
	優勝	船高 [?] (芳平) 船2(21~4) ⁰ 船高 [?] (21~8) [?] 船2(21~10) ¹ 船高 [?] (15~21) ¹ (21~7) [?] 横
	決勝	船2(21~12) ¹ 船高 [?] (14~21) [?] (21~16) [?] 決勝は初見参加であったが、双方は自信を持っていい試合であった。直藤FRに對するSL量は少く、FRに相當以上の力をもつBR加藤の存在が、試合を支配した。結果、FRでHR9、FL6得点。直藤は自ら入るべき場面にはFL深くつた。これは相当効果的。直藤は、試合中2、3点あり。

順位	位置	年	氏名	順位	位置	年	氏名	順位	位置	年	氏名
7	BR	27/3	山賀	8	HR	26/3	宮原	4	BR	27/3	加藤(凌)
		28/3	内藤	9	HC	24/3	酒巻房	2	BC	28/3	宇佐見
3	FC	28/3	永盛			26/3	寺沢	6	BL	26/3	植竹(初)
5	FL	26/3	金子	1	HL	24/3	直藤			27/3	石黒

7. 1	練習試合	松江 都立西高校体育館
		船高 [?] (19~21) [?] (19~21) [?] 船高 [?] (15~21) ¹ 船高 [?] (22~20) ¹ 東京

7. 31	練習試合	役員合宿最終日 松江講堂
		船2(21~7) ⁰ 船高 [?] (21~19) [?] 船2(21~15) ⁰ 船高 [?] (22~20) [?] 船高 [?] (21~8) ⁰ 地理調査所

8. 14	団体対抗選予選 福岡市	松江 市教育会館 役員練習試合 全員参加
		船高 [?] (21~8) ⁰ (22~20) [?] (21~15) [?] (21~16) [?] (22~20) [?] 地理調査所

8.20	国体小樽入	(20日 21時20分 上野駅) [千葉競艇団 団体列車] (22日 14時37分 小樽着) 総勢16名 内3名は前日の参行也 [約41時間かかっている。]
22	一般男子チーム	監督 加藤忠太 (24/3) FR 山賀肇夫 (24/3) HR 菅野功夫 (24/3) BR 加藤 潔 (24/3) FC 永盛昌敏 (24/3) HC 海保金太郎 (24/3) BC 幸徳良夫 (24/3) FL 金子一雄 (24/3) HL 西藤弘男 (24/3) BL 小笠原博司 (24/3) 内藤新一 (24/3) 三沢俊夫 (24/3) 石黒 弘 (24/3) 田中先生 伊藤 (24/3) 川村 (24/3)
23	29回 国体小樽	於 汐貝台 中学体育館 2回戦 船高 0 (18~21) 2 葉長 岸本 幸徳と陸上にて入賞 吳が 船高 2 (20~22) 2 兵野 最も影響している。FLHLは一歩もストロ でいるかたも大きい。前日の午後着で疲労が残り、21日朝汗を流し
24	朝一志解散	田中先生 金子一雄、山賀、幸徳は 現役の試合に肉をけず休養に帰す。 小樽 朴 (K10) 裕隆、田中、廣谷、正教、磯崎、東京、中村高
9.11	全日本混合卓球選	於 四街道 準決勝 船高 4 船高 2 (21~18) 0 千葉 銀介 船高 2 (21~19) 0 千葉 銀介 船高 0 (16~21) 2 葉長 岸本 船高 2 (12~21) 2 葉長 岸本
10.29	中7回 東海大会	於 四街道 参加12チーム 決勝 優勝 船高 2 (21~13) 0 目黒 隆 船高 2 (21~18) 0 千葉 銀介 船高 2 (21~7) 0 千葉 銀介 船高 2 (21~11) 0 千葉 銀介 船高 2 (21~7) 0 千葉 銀介 船高 2 (26~24) 0 千葉 銀介 永盛 (28/3) 幸徳 (28/3) は千葉大で出場 現役2年小川 (陸) HLにて出場。長節は千葉大で千葉大に脱出。
11.14	22回ハイキング	中津川 深谷 A 幹事 小笠原 (博) 他OB 7 OG 3 参加。
12.24	忘年会	於 魚半 田中先生 他 OB 22 OG 2 現役 1。 会費 300円。OG 現役 半額。
30.2.27	クラブ役員 改選	会長 加藤忠太 (24/3) 池田会長 選任 (24/3) 主将 西藤弘男 (24/3) 監督 加藤忠太 (24/3) 会計 伊藤 明 (24/3) 事務 小笠原博司 (24/3)

529年度 737"

問題	位置	平	人名											
1.2	HL	2/3	西藤 弘男	9 (20)	2.2	HR OL	2/3	宮内 武夫	6 (13)	5	FR		高橋 鍾	2 (2)
2.1	BC	2/3	中野 貝武男	6 (14)	8.7	FR	2/3	山内 崇夫	6 (12)	3	HR	2.3	湯浅 重信	5 (10)
3	FL	2/3	永原 昌敏	6 (14)	8.6	FR BL	2/3	内藤 新一	8 (15)	4.2	HL	2.2	小笠原 敏夫	5 (9)
4.6	BR	2/3	加藤 稔	9 (19)	9	HL	2/3	藤原 泰太郎	4 (9)	9.5	HL	2.2	小川 定夫	5 (8)
5	FL	2/3	金平 一輝	4 (10)	9.2	HL	2/3	玉川 俊夫	2 (2)	5	FR	2.3	中村 博雄	3 (4)
6.8	BL BR	2/3	石原 弘	3 (6)	7	BR	2/3	川村 信幸	3 (4)					
6.8	BL	2/3	小笠原 博司	7 (14)	7	BR	2/3	北藤 忠太	2 (2)					

Blank lined area for additional notes or calculations.

船橋市・市協会の動き

国内（社会一般）の動き

昭和29年（1954）

- 3. 船橋港起工式
- 4. 豊富村合併

- 3. ビキニ水爆実験 第5回福竜丸被爆
- 7. 防衛庁、自衛隊発足
- 9. 青函連絡船洞爺丸転覆
- 12. 力道山、初代日本チャンピオンとなる

NEWS	MOVIE, SONG	BOOK LIFE	SPORTS
	radio 「ヤシ塚」 、「ソノカ」 「お父さんはお人好し」	「愛の讃歌」	プロレス：力道山、木村組。 橋本 44代横綱に。
	映画 「二十四の瞳」 「日一2の休日」 「懐かしい河」	28日 12月 12日 3人 24日	
	song 「お富さん」 「愚問答の歌」 「岸壁の母」 「高原列車は行く」 「ホワイトクリスマス」	Life 50巻以下の小説家 まじゅう 著者。 競泳選手 坂根村 弟 弟 村 村 「3種の神話」と呼ばれる	